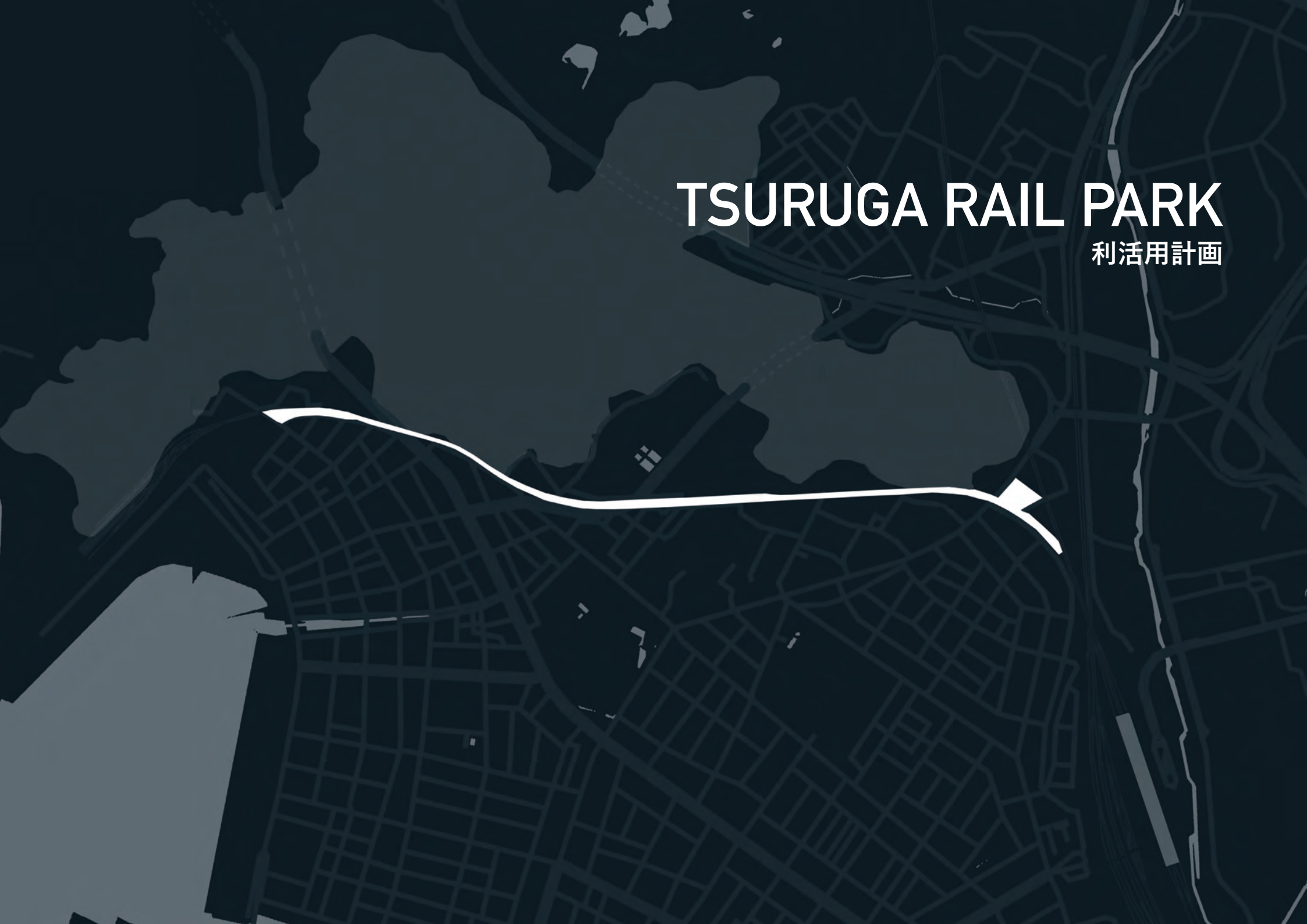


TSURUGA RAIL PARK

利活用計画



A dark gray map of a city grid with a prominent white wavy line and an arrow pointing right.

1

コンセプト

1-1 コンセプト

1-2 基本方針

- (1) 自然・環境
- (2) 歴史・文化
- (3) 生活・自治

1-3 市街地活性化のシナリオ

- (1) まちと自然を繋ぐ
- (2) 「8」の字の回遊動線の形成
- (3) 東西から出入り可能な接続部の整備
- (4) 南北動線の確保と景観形成
- (5) 都市のビジョン
 - ①環境基盤
 - ②暮らしの風景

1-4 整備の全体像

- (1) 現況
- (2) 廃線敷整備と市街地全体の将来像(イメージ)

1-5 全体イメージ

1

コンセプト

1-1. コンセプト

敦賀の文化・生活を紡ぎ、営む、地域のぬくもりに包まれたレールパーク

交通の結節点である敦賀駅とかつて世界への玄関口であった、敦賀港を結んでいた旧敦賀港線。

金ヶ崎エリアを中心に廃線敷周辺に息づく敦賀の歴史文化や自然風景を生かし、

住民や来訪者に愛される公共空間を創出します。

廃線敷の再整備により、既存資源の活用を図るとともに賑わいや活性化の為の基盤として回遊性を生みだし、持続可能なまちづくりを実現します。

自然・環境

山海相依の豊かな自然を享受する



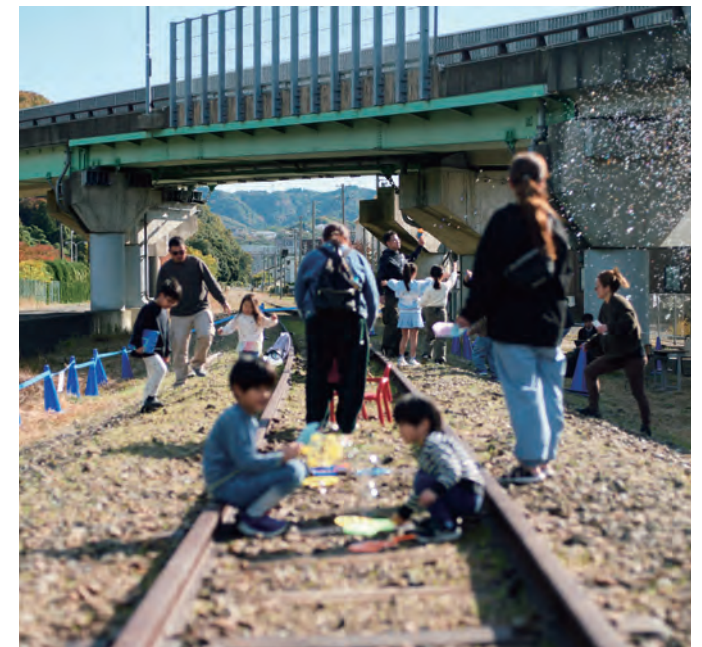
歴史・文化

敦賀固有の歴史文化的資源の活用を図る



生活・自治

地域と共にみんなで育てる



1-2. 基本方針

(1) 自然・環境 | 山海相依の豊かな自然を楽しむ

○自然の保全と活用

- ・天筒山や気比の松原など多様なみどりが織りなす敦賀の風景の保全
- ・天筒山のみどりを市街地と繋げ自然を楽しむ環境の形成
- ・照葉樹林である鎮守の森の保全、里山の雑木林を保全・維持管理
- ・子どもたちの環境学習の場の創出
- ・人々の五感を魅了するみどりの空間を形成

○グレイインフラからグリーンインフラ等環境への配慮

- ・鉄道施設を残しながら自然豊かな潤いある緑道として再編
- ・天筒山から広がる生態系の再生へ貢献
- ・天筒山の自然と一体となった生態環境の創出
- ・人々の健康の向上と幸福度を満足させるバイオフィリックデザインの実現
- ・地域植生、生物多様性に配慮した植物の選定
- ・植物生育や雨水浸透に対し余裕のある植栽基盤の整備
- ・湧き水や地下水の涵養と利活用
- ・太陽光や風力などの自然エネルギーの活用
- ・温暖化やヒートアイランド現象の緩和
- ・停電時に利用可能な非常用蓄電池設備を併設

○敦賀固有の風景の保全、周囲の自然や街並みと調和した景観形成

- ・周辺環境に配慮した修景や遮蔽植栽を計画
- ・天蓋を構成する樹木の配置により日陰空間の形成
- ・天筒山の四季の変化に調和した美しい風景の創出
- ・質の高い緑化による丘陵地の緑と街並みの調和
- ・街路の並木と連続した緑道空間の形成
- ・隣接する敷地や建物と調和した施設の整備
- ・多様な緑が連なり廃線敷を印象づける風景の創出



(2) 歴史・文化 | 敦賀固有の歴史文化的資源の活用を図る

○鉄道遺産の活用や港町の風景の継承

- ・ 敦賀駅～金ヶ崎～敦賀港を結ぶ「鉄道と港の道」としてブランド化
- ・ 廃線敷や転車台を活かし、「昔の敦賀港線を歩く」ここにしかない緑道の創出
- ・ レールや枕木など鉄道遺産の再利用による魅力向上
- ・ 赤レンガ倉庫、人道の港敦賀ムゼウム、敦賀鉄道資料館、ランプ小屋等の歴史文化施設との連携
- ・ 周辺環境に調和した意匠形態や素材色彩によるデザイン
- ・ 金ヶ崎緑地や整備予定の鉄道公園、桜公園等と連携・調和する整備

○産業、水産業、伝統工芸

- ・ 水産加工や飲食業を活かしたイベント、小商いによる賑わいの創出
- ・ おぼろ昆布など敦賀独自の伝統工芸を身近に体験できる場づくり
- ・ 小売業や飲食業などが多様に揃う駅前商店街、本町1,2丁目商店街や神楽町1丁目商店街との連携
- ・ 港町である敦賀の食文化を堪能できる場の整備
- ・ 鉄道と港の歴史を学べる文化・歴史の展示施設、体験型ミュージアムの整備
- ・ 歴史文化的資源の魅力向上とそれらのネットワーク化による景観形成

○寺社と祭事など地元の文化と連携した空間づくり

- ・ 敦賀の歴史文化を題材にしたイベントの開催
- ・ 氣比神宮や敦賀まつりと連携した空間づくり
- ・ 歴史文化的資源を巡る回遊動線の整備
- ・ 景観資源、金ヶ崎エリア開発、地域産業との連携



(3) 生活・自治 | 地域と共にみんなで育てる

○日常における利用の促進

- ・東西に開かれ市街地からアクセスしやすく南北にウォーカブルな公園
- ・道路空間と交差している場所に拠点を整備
- ・周辺街路と連携した回遊性のあるウォーカブル空間の創出
- ・案内サインの配置によるまちなかの誘導
- ・まちなか情報や交通情報等を提供するデジタルサイネージの導入
- ・祭りやイベント時に利用できる広場空間の創出

○市民のウェルビーイングに寄与する安全で快適な空間

- ・敷地の南北、東西方向への歩行者バリアフリー動線の整備
- ・子どもたちが遊べる空間の整備
- ・災害時における避難路としての機能確保
- ・防災サイン等、被災時に活用可能なインフラの整備
- ・廃線レールを利用した移動する施設や次世代の走行モビリティの導入

○持続可能な維持管理、運営体制の確立と地域連携

- ・ワークショップやアイデアコンテストでの市民の声を反映
- ・トライアル・サウンディング(*1)による機運の醸成
- ・周辺農地との連携等による都市林業・都市農業の担い手を育てるプロジェクトの企画
- ・情報発信等による地域魅力向上とシビックプライドの醸成
- ・敦賀市にゆかりのあるアートプロジェクト（壁画、彫刻等）の企画運営
- ・学校との協働による遊び、教育等の情報発信
- ・地域全体の活性化につながる地域共創・事業が生まれる仕組みや場づくり
- ・エリアマネジメント等、地域事業者との連携によるまちづくりの検討
- ・トライアルパーク(*2)等社会実験の実施
- ・補助金等の活用による店舗の誘致
- ・市民による植栽管理、清掃活動など維持管理への貢献のための仕組みづくり
- ・都市公園リノベーション制度や都市公園占用許可制度の活用
- ・指定管理制度や設置管理許可制度など民間事業者による運営
- ・廃線跡地利活用条例の制定など法的制度による担保等



*1 トライアル・サウンディング：民間事業者に検討対象となる公共施設を暫定的に使用してもらい、民間事業者の提案事業を試験的に実施する機会を提供する手法。（国土交通省 HP）

*2 トライアルパーク：トライアル・サウンディング手法により整備、運営する仮設の公共空間。（静岡市 HP、マイ広報紙 HP）

1-3. 市街地活性化のシナリオ

(1) まちと自然を繋ぐ

○東西方向

- 東は天筒山の自然、西は市街地が隣接しそれぞれを寄せ付けなかった廃線敷を、東西方向に開き両者が行き来可能な緑の骨格として整備。
- ランドマークである天筒山の麓から廃線敷を介した緑の連続性により市街地と一体化を図る。

○市街地との高い接続性

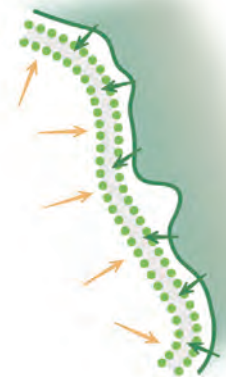
- 複数ヵ所存在する街と接する東西方向の接点を、安全に通行可能な場所として整備するとともに人々の為の滞留空間の場として再編することにより、レールパークへのアクセス性を向上。

BEFORE



1：廃線敷は街の産業遺産である一方、取り残され天筒山の自然と市街地を分断

「東西接続」の創出



2：廃線敷を天筒山と市街地それぞれに対し東西に開放

AFTER



3：廃線敷を介して天筒山の自然が市街地へ拡張する緑の骨格形成とともに人の流れを創出

(2) 「8」の字の回遊動線の形成

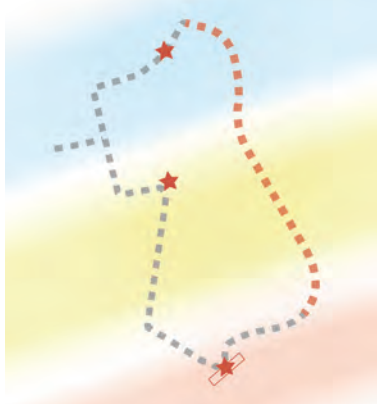
○南北方向

- レール撤去区間における再敷設によって全線レールを連続させると共に、これらを活用しながら連続した歩行空間を創出する。
- 1.7km 全体を連続的に整備することで地域の生活を支える生活動線、観光資源として再編。

○市街地への回遊性の向上

- 中心市街地内の重点エリアに繋がる広場を設え、それらを既存街路と繋ぐことにより市街地全体へ波及する8の字状の循環を形成。

BEFORE



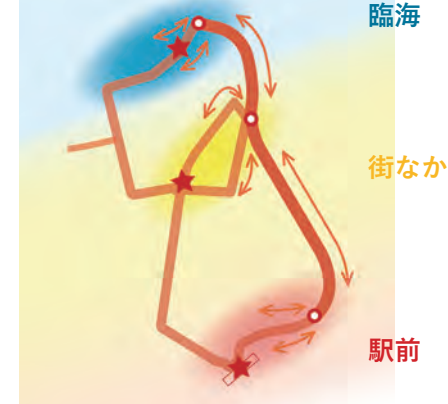
★ 現在の拠点 1：中心市街地(東側)における繋がりや連携が欠如
○ 計画拠点

「南北動線」の創出



2：全体を繋ぐレールを整備、南北バリアフリー動線の確保とともに活動を支える各エリアの拠点を設置

AFTER

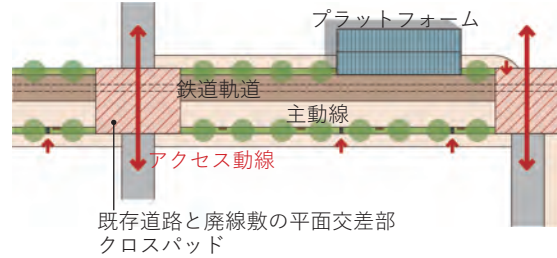


3：既存資源を含む各エリアが接続され、既存街路と連続する回遊動線の好循環が8の字状に創出

(3) 東西から出入り可能な接続部の整備

- 境界の整備
 - ・敷地を囲っていたフェンスを撤去し、人々が自由に出入りできるまちに開いた公園空間にする。
- プラットフォーム
 - ・街との結節点、活動拠点の場として配置する。
- クロスパッド
 - ・広場や、既存道路と廃線敷の平面交差部の小広場「クロスパッド」を起点に街や自然環境と、安全にシームレスにつながる空間を整備する。
- ゲート、サイン
 - ・まちとの主要結節点に配置し円滑な誘導を促す。
- 滞留空間
 - ・多様な居場所を配置し人々の活動を誘発する。

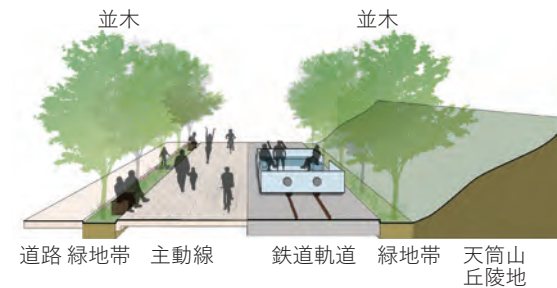
東西方向に安全に通行できる交差点



(4) 南北動線の確保と景観形成

- 主動線、鉄道軌道
 - ・レールを復元し移動のための施設として活用するとともにバリアフリーに配慮した日常的に利用できる散策路として整備する。
- 並木等の緑が連続する緑道空間の創出
 - ・連続した並木による南北方向の緑陰の確保を行い人々の移動を促進させる。
 - ・エリアの特性に即した四季の変化がある植栽等により美しい景観を創出する。

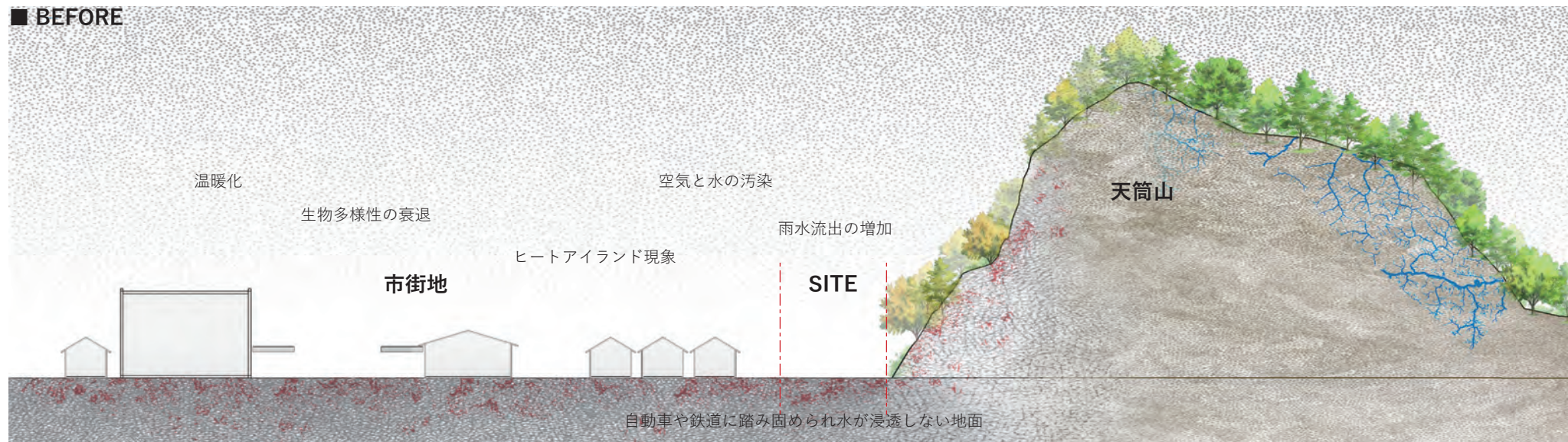
南北に敷地全体を貫く要素



(5) 都市のビジョン

①環境基盤：市街地全体の都市基盤をグレーインフラからグリーンインフラへ再構築し、自然環境、生物多様性、温熱環境の改善を図る足掛かりとする。

■ BEFORE

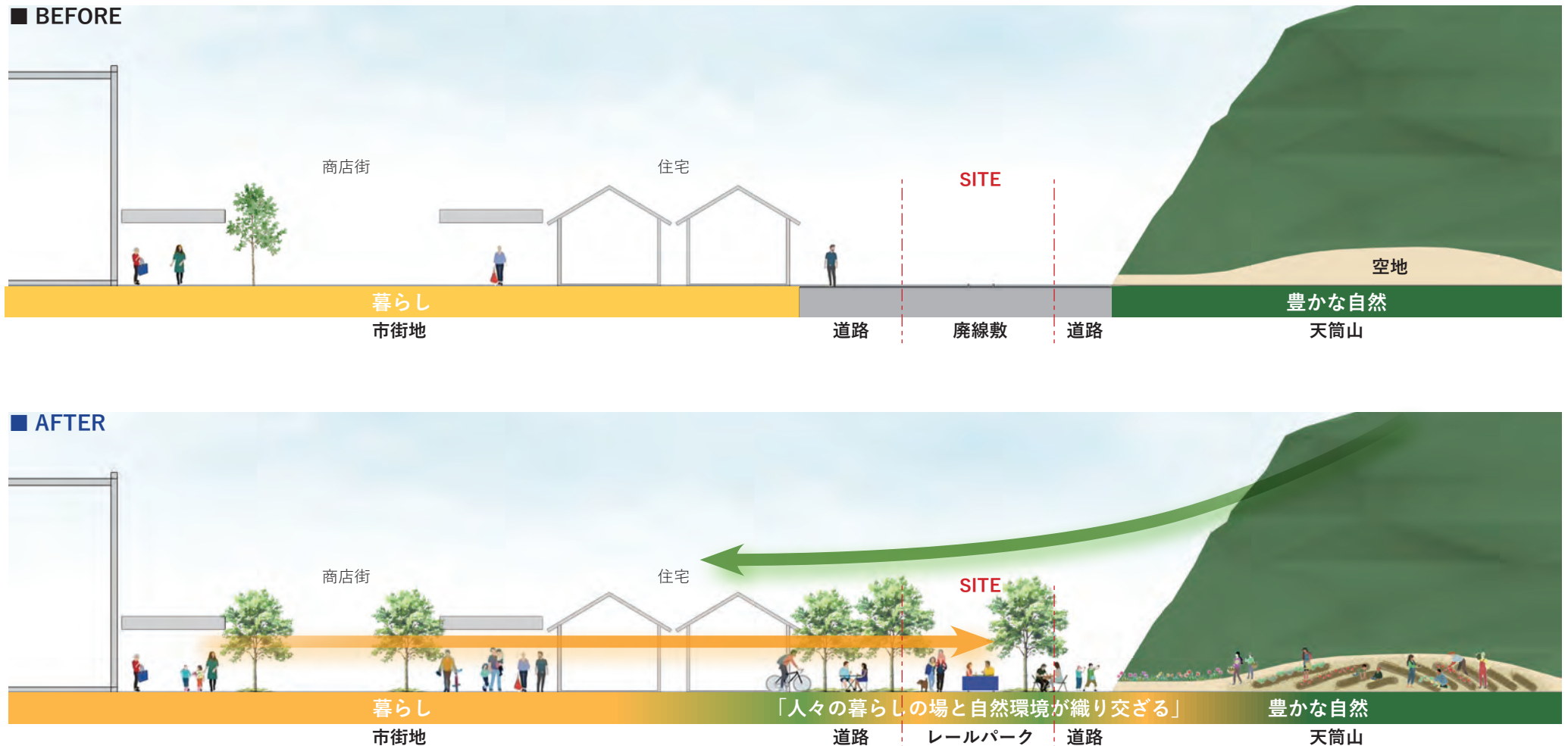


■ AFTER



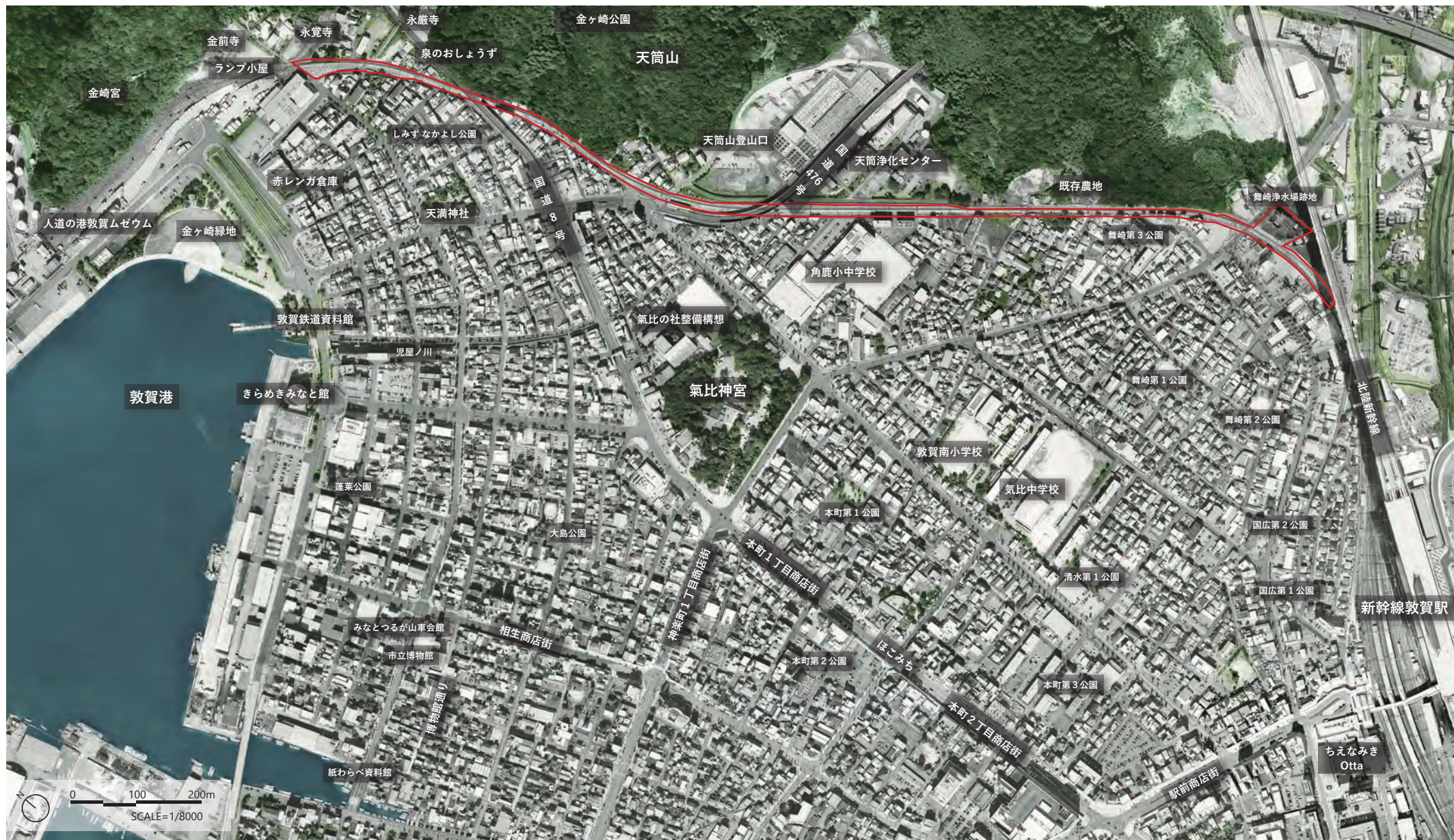
(5) 都市のビジョン

- ②暮らしの風景：これまで、立ち入れなかったグレーインフラとしての廃線敷が自然環境と暮らしを分断していた。
 廃線敷に人々の活動空間や緑空間を整備しながらまちに開いていき、天筒山の自然と繋がる日常・イベント利用が可能な場所へ再構成する。



1-4. 整備の全体像

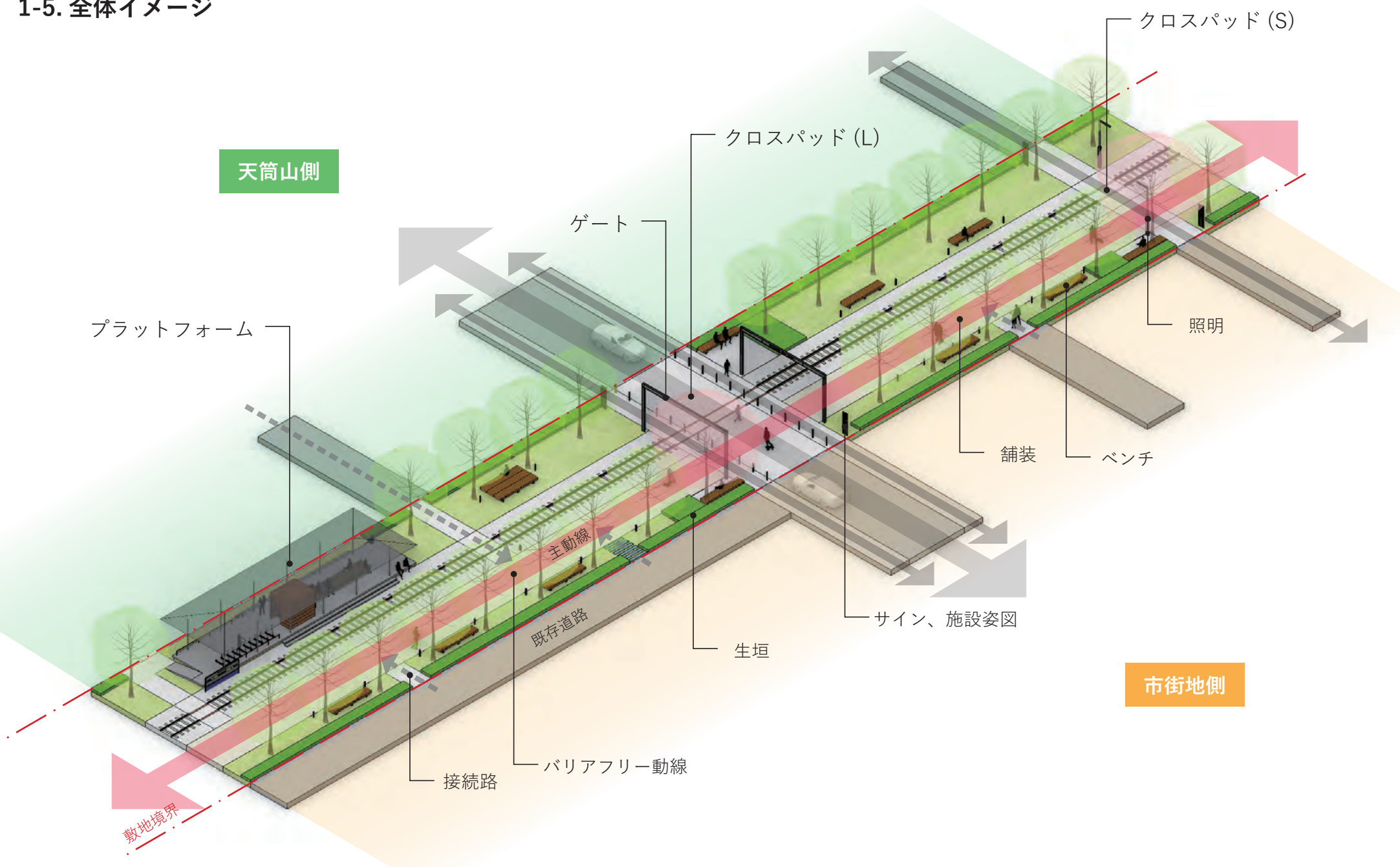
(1) 現況



(2) 廃線敷整備と市街地全体の将来像 (イメージ)



1-5. 全体イメージ



A dark gray map of a city grid with a white wavy line and an arrow pointing to a specific location. The map shows a dense network of streets and some irregular shapes representing parks or undeveloped areas. A prominent white wavy line runs horizontally across the middle of the map, ending in a white arrowhead pointing towards the right. The number '2' is positioned in the upper right corner of the map.

2

利活用計画

2-1 全体計画図

- (1) 全体平面図
- (2) ゾーン特性
- (3) 5つのライン区分
 - ①ゾーニング
 - ②全体の空間利用

2-2 結節点配置計画

- (1) 全体配置図
- (2) 広場
- (3) プラットフォーム
- (4) クロスパッド

2-3 レールの保全と活用

- (1) レール上の歩行空間
- (2) レール活用
- (3) 多様な滞留空間

2-4 歩行者動線計画

- (1) 標準断面構成
- (2) 場所ごとの断面構成

2-5 全体整備計画

- (1) 全体
- (2) 舞崎ライン
- (3) 角鹿ライン
- (4) 天筒ライン
- (5) 曙ライン
- (6) カルバート
- (7) 金ヶ崎ライン

2-6 主要施設計画

- (1) 広場
 - ①くさまち広場
 - ②まちなか広場
 - ③うみまち広場
- (2) プラットフォーム
- (3) クロスパッド
 - ①クロスパッドL
 - ②クロスパッドS

2-7 景観形成の方針

- (1) 環境基盤としての整備
- (2) 植栽

2

利活用計画

2-1 全体計画図

(1) 全体平面図



(2) ゾーン特性

- 天筒山など自然に囲まれている
- 寺社など歴史文化的資源に囲まれている
- 観光拠点や歴史文化施設と隣接する
- 氣比神宮や学校、商店街に近接する
- 閑静な戸建て住宅が集まる



(3)5つのライン区分

①ゾーニング：ゾーン特性から廃線敷を5つに区分する。



舞崎ライン

敷地南端で敦賀駅や高速道路を通じて広域から人々を受け入れる、天筒山をアイストップとするゲート空間。まちと廃線敷を繋ぐ地域交流拠点。

角鹿ライン

天筒山の丘陵地の植栽や農地が沿道に連続する、地域住民に根ざした環境的な活動空間。

天筒ライン

気比神宮、気比の杜整備構想エリア、角鹿小中学校などと連携し天筒山への玄関となる東の中心。天筒山を借景に人々の多種多様な活動・遊びの受け皿となる空間。

曙ライン

まちから人々を迎え入れ、四季の移ろいを感じることができる散策空間。

金ヶ崎ライン

敦賀港周辺に多く点在する「鉄道と港のまち敦賀」の歴史文化を象徴し、金ヶ崎周辺整備と連携・調和する観光・回遊拠点。

(3)5つのライン区分

②全体の空間利用：各ラインの特徴やその周辺特性を活かした空間利用を検討する。



2-2. 結節点配置計画

(1) 全体配置図

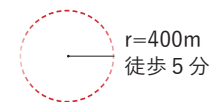
○3要素の配置により5つのラインそれぞれに、滞留空間や移動空間としての特徴が形成

- ・屋外活動空間としての中心的役割を担う広場
- ・公園施設を整備した屋根下空間のプラットフォーム
- ・安全な交差の為のクロスパッド



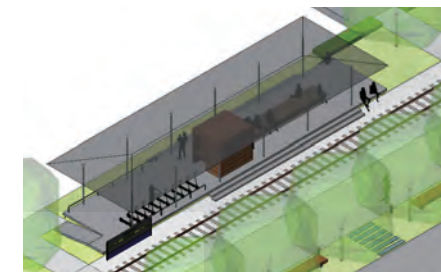
(2) 広場

- 整備箇所：3箇所
- 市街地と廃線敷跡との結節点となり、市民の活動を支える場、地域住民や敦賀への来訪者が寛ぎ、快適に過ごすことのできる場としての役割を担う。
- 周辺環境に応じた機能の整備や景観形成により開放的で快適性の高い空間を創出する。
- 市街地を形成する「駅前ゾーン」「市街地ゾーン」「臨海ゾーン」それぞれに「くさまち広場」「まちなか広場」「うみまち広場」を整備。



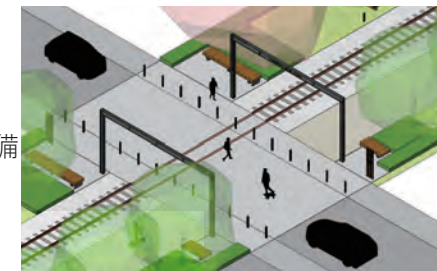
(3) プラットフォーム

- 整備箇所：4箇所
- 休養施設、便益施設、情報発信、またアクセス性向上の為モビリティポート等の公園施設を整備。
- 3つの広場に併設。
- 敷地の東西両側からアクセス可能で隣地と一体利用できる可能性が高い場所に設置。
- 市街地からの視認性が高く、街の主要な動線との連携を考慮した位置へ配置。



(4) クロスパッド

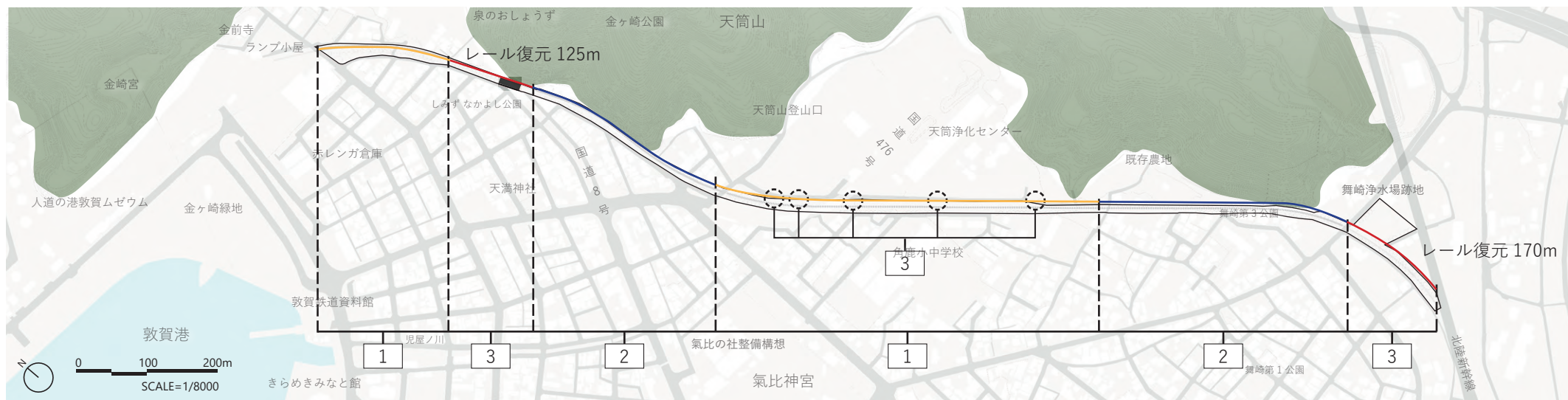
- 整備箇所：8箇所
- 敷地内動線と道路が交差する部分に各モビリティが安全に交差できる設えを計画
- 市街地側から延びる道路と交差せず接しているだけの場合でも、対岸に活動空間(道路,空地等)があれば動線を計画し安全な交差点として整備
- 東西方向の市街地との接続性、回遊性の向上に寄与



2-3 レールの保全と活用

(1) レール上の歩行空間

- 敷地内のレールが残存する部分は全て保全する。
- 天筒山と接し主に移動空間として整備する範囲では現状を維持しながら、利用目的に応じて枕木の上に飛び石や木材等を補完し歩行空間として高質化する。
- レールが撤去されている範囲は、レールの復元を検討する。



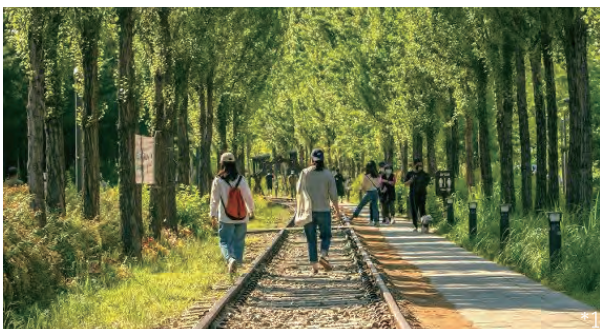
1 現状継承	2 飛び石	3 舗装			
<ul style="list-style-type: none"> ■レール、枕木、バラストは現状維持。 ■枕木の間は緑化(ノシバ等)する。 	<ul style="list-style-type: none"> ■幅員が狭く、散策路として設定する箇所を設置。 ■枕木の上に飛び石等敷設し、歩きやすくする。 	<ul style="list-style-type: none"> ■レールを復元する箇所と、線路とサブ動線が交差する箇所に設置。 ■PC平板等を敷設し、平坦なしつらえにする。 			

(2) レール活用

○保全するレールを活かし、主動線となる歩行空間の整備やレール上に載せる施設、移動手段やイベントとしてのモビリティ走行を検討する



↔ 主動線



廃線敷の南端から北端まで、保全 / 敷直しするレールに沿う歩行空間を一気通貫で整備。

↔ モビリティ



気比余座線との交点と、敷地北端を繋ぎレールバイクなどのモビリティ走行として活用。

● 広場などでのイベント・活動



活動拠点として整備する広場周辺では、レールを活用したカフェ、コンテナショップ、アートイベント等を実施できるよう整備。



(3) 多様な滞留空間

○大小様々なスケールの滞留空間、アクティビティ空間を点在させる。



1



天筒山への眺望が良好なエリアに、足を伸ばして寛ぐことのできるレール上の可動式ベンチを設置。

2



植栽のそばや木陰の下で気軽に休憩できるベンチを設置。

3



学校が近接するエリアで子どもが遊べるレクリエーション空間を整備。

4



十分な広さがあり市民活動が可能なエリアで、コミュニティガーデンや花壇と一体のベンチなど四季の植栽を楽しめる施設を整備。

5



周辺に空地や農地が存在するエリアで多様な自然文化学習やレクリエーションの場を提供。

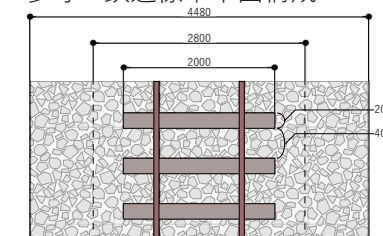
2. 利活用計画

2-4. 歩行者動線計画

(1) 標準断面構成

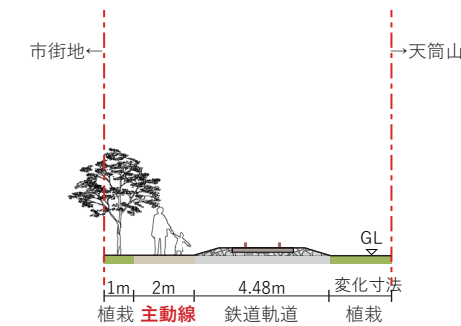
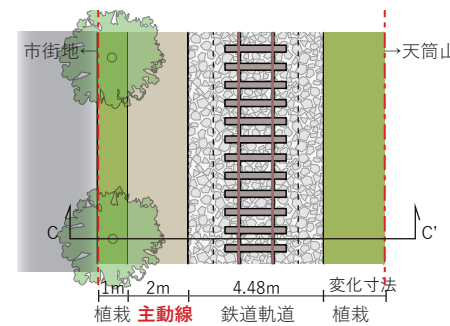
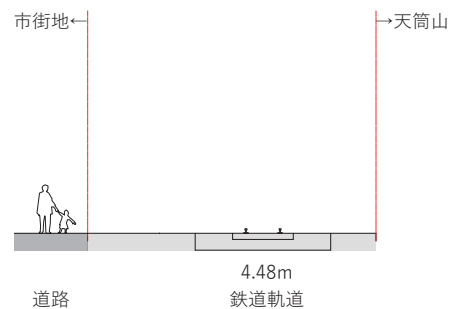
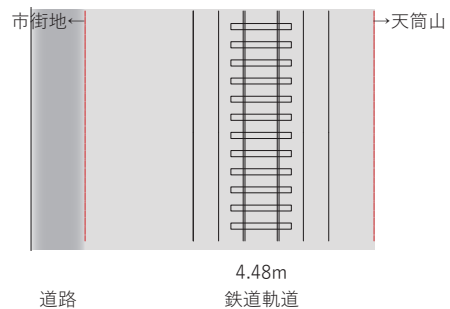
- 既存のレールは現況のまま保全する。
- レールが取り外された範囲では車輪が載置可能な設えでレールを復元する。
- 南北一気通貫の主動線は最低有効幅員 2m とし、歩行性向上のため必要な整備を行う。
- 幅員を確保可能な箇所では敷地境界線沿いに植栽帯を設ける。

参考：鉄道標準平面構成



現況

計画

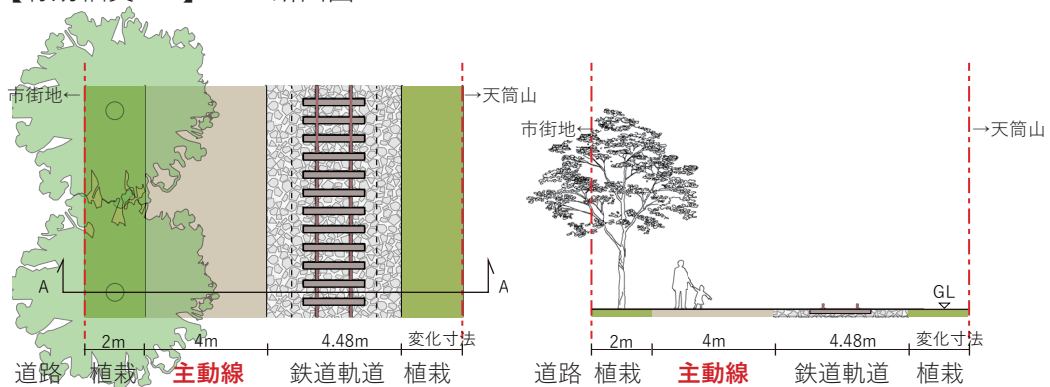


(2) 場所ごとの断面構成

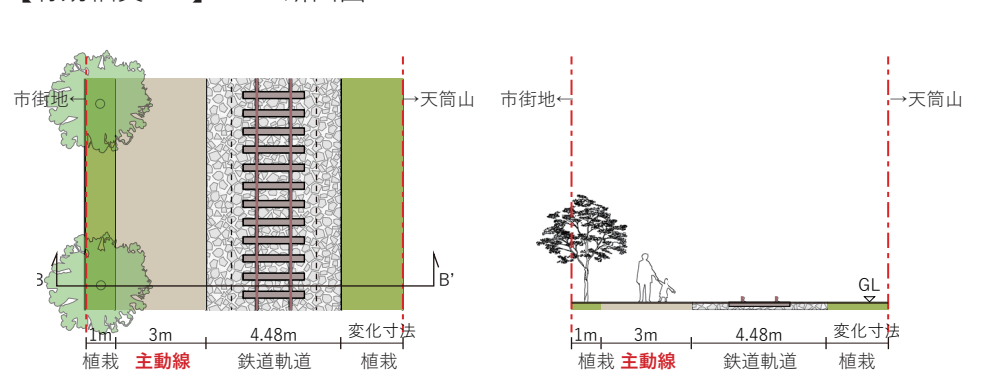
- 造成は最小限となるよう計画する。
- 鉄道軌道や敷地幅員の現状によって主動線の幅員を調整する。
- 主動線の最大有効幅員は4mとする。



【有効幅員 4m】A-A' 断面図



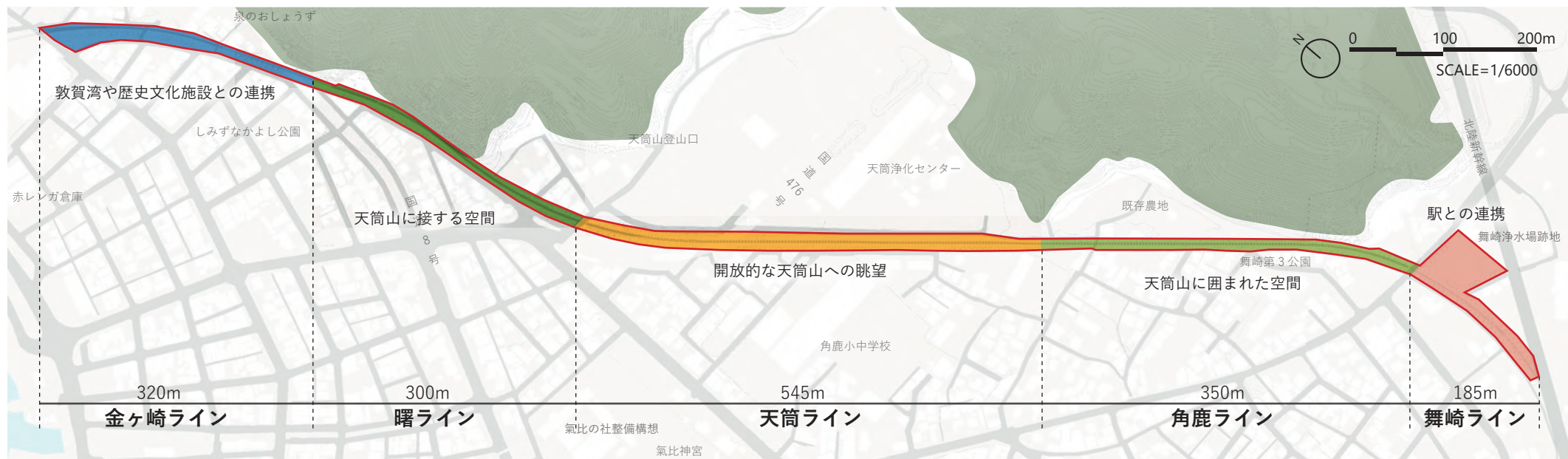
【有効幅員 3m】B-B' 断面図



2-5. 全体整備計画

(1) 全体

○5つのラインそれぞれの特性を活かし景観形成を検討する。



金ヶ崎ライン
 港エリアの歴史・文化を体感する空間

お祭り *1

マルシェ *2

曙ライン
 文化イベント、周辺住民の安らぎ・憩いの場

自然散策 *3

トンネル映画祭 *4

天筒ライン
 多様な活動や遊びの受け皿となる空間

コミュニティガーデン *5

ポケットパーク *6

角鹿ライン
 環境学習、植栽基盤を提供する緑の帯状空間

市民農園 *7

自然教室 *8

舞崎ライン
 市民の憩い、地域交流・情報発信拠点

芝生広場 *9

まちの休憩場所 *10

(2) 舞崎ライン

敷地南端で敦賀駅や高速道路を通じて広域から人々を受け入れる、天筒山をアイストップとするゲート空間。街と廃線敷を繋ぐ地域交流拠点。
「市民の憩い、地域交流・情報発信拠点」

整備方針イメージ



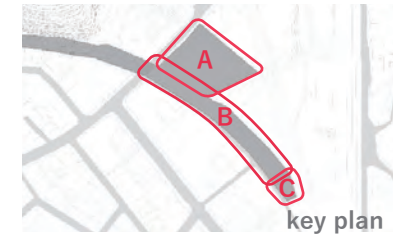
(2) 舞崎ライン：市民の憩い、地域交流・情報発信拠点

① 計画平面図



(2) 舞崎ライン：市民の憩い、地域交流・情報発信拠点

③ゾーンのイメージ



A：くさまち広場



- # 浄水場跡地の開けた空間
- # 敷地の南の顔となる地域交流拠点
- # 地域の多様なイベント開催
- # 誰もが思い思いに利用できる芝

B：並木散策ゾーン



- # シンボル性の高い並木道
- # 人々を線路敷に誘う四季の景観
- # 線路の上を歩ける歴史的な歩行路

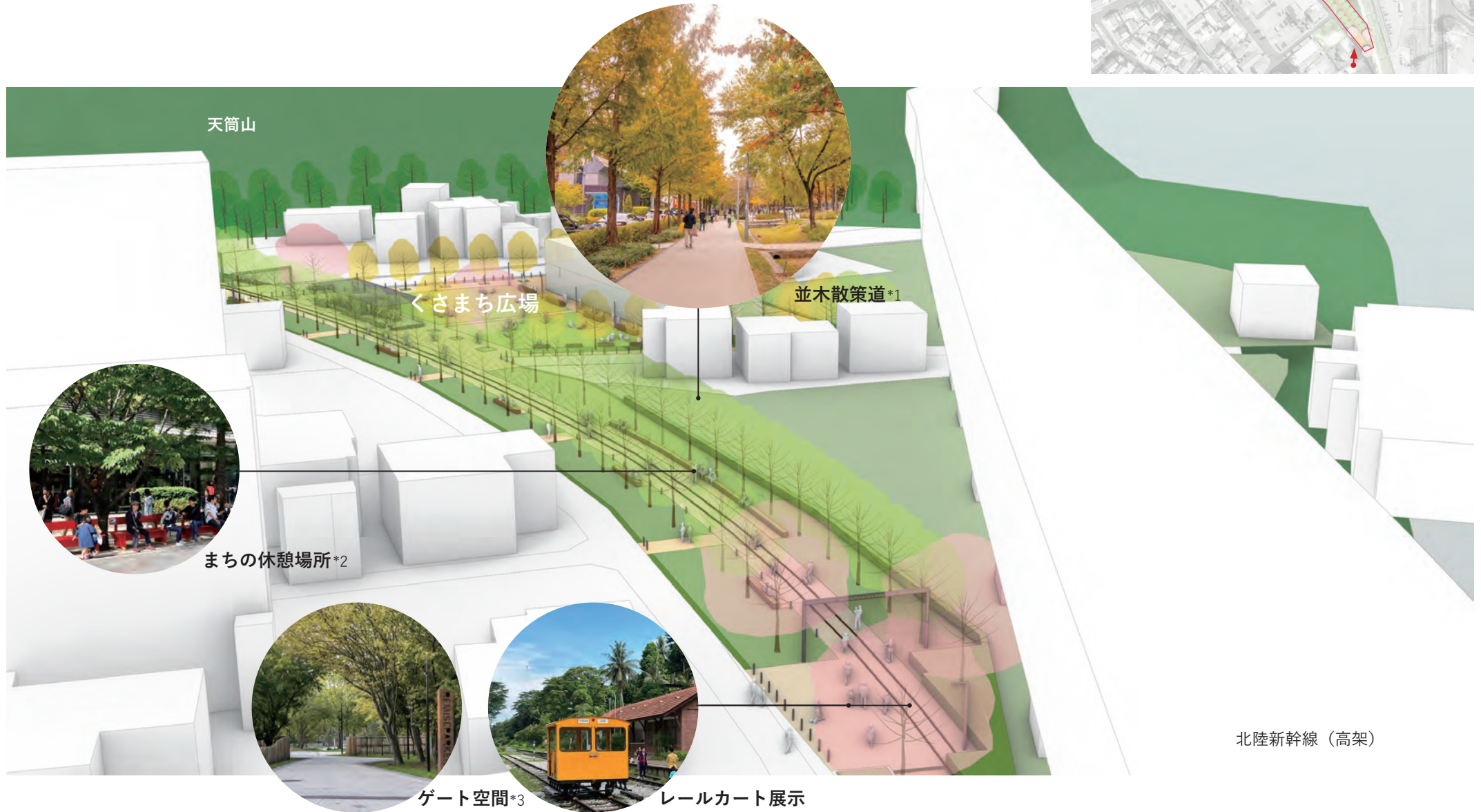
C：メインエントランスゾーン



- # 敷地の南のエントランス空間
- # JR 敦賀駅からのアクセス動線の入口
- # ゲート性

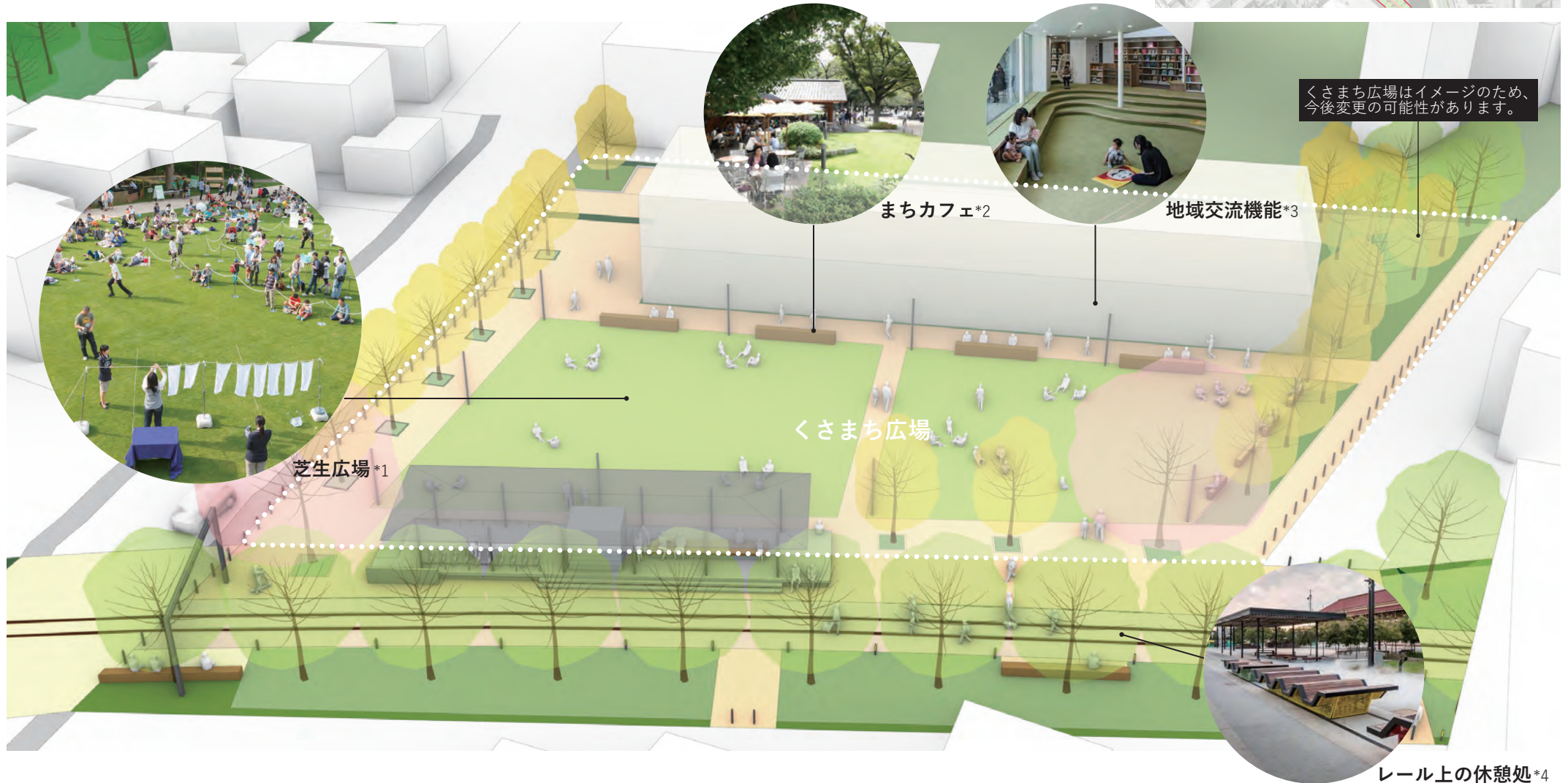
(2) 舞崎ライン：市民の憩い、地域交流・情報発信拠点

④空間イメージ -1



(2) 舞崎ライン：市民の憩い、地域交流・情報発信拠点

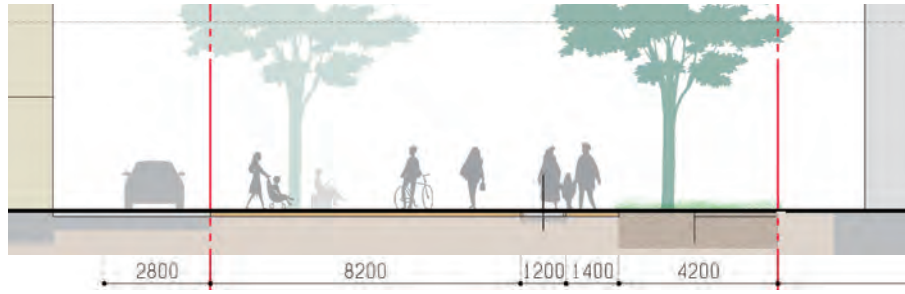
④空間イメージ-2



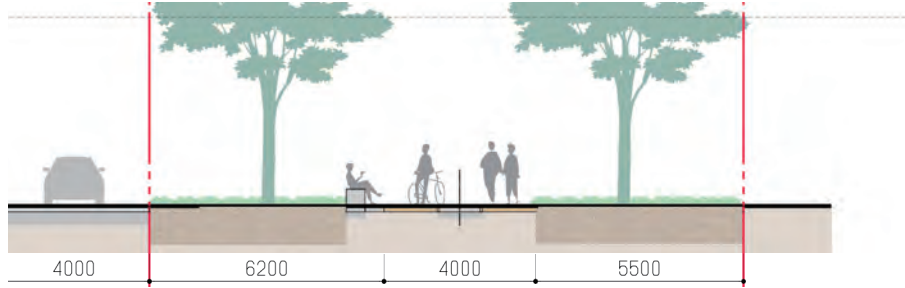
(2) 舞崎ライン：市民の憩い、地域交流・情報発信拠点

⑤計画断面図

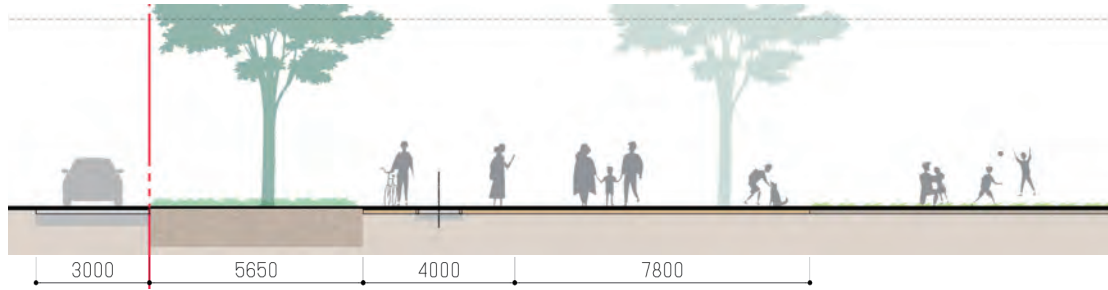
A-A' 断面



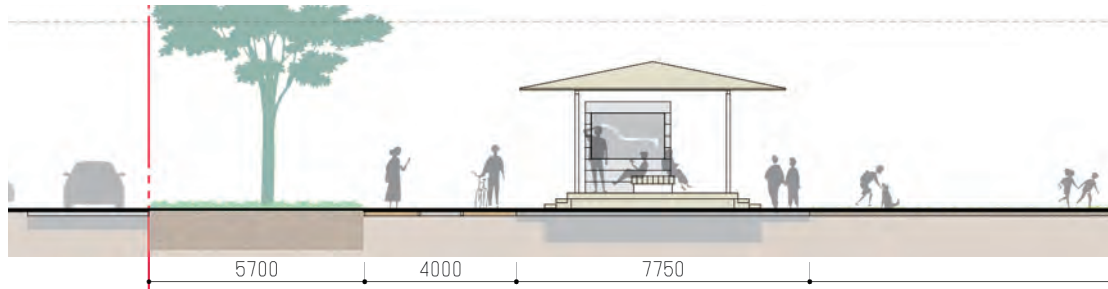
B-B' 断面



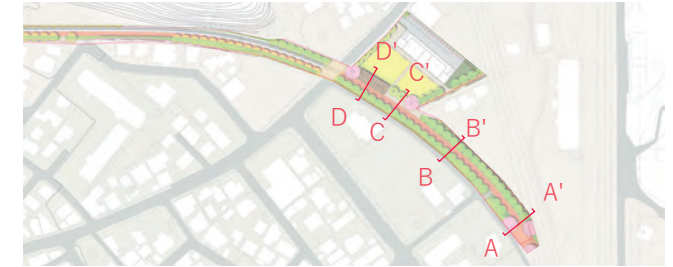
C-C' 断面



D-D' 断面



SCALE=1:200



(3) 角鹿ライン

天筒山の丘陵地の植栽や農地が沿道に連続する、地域住民に根ざした環境的な活動空間。

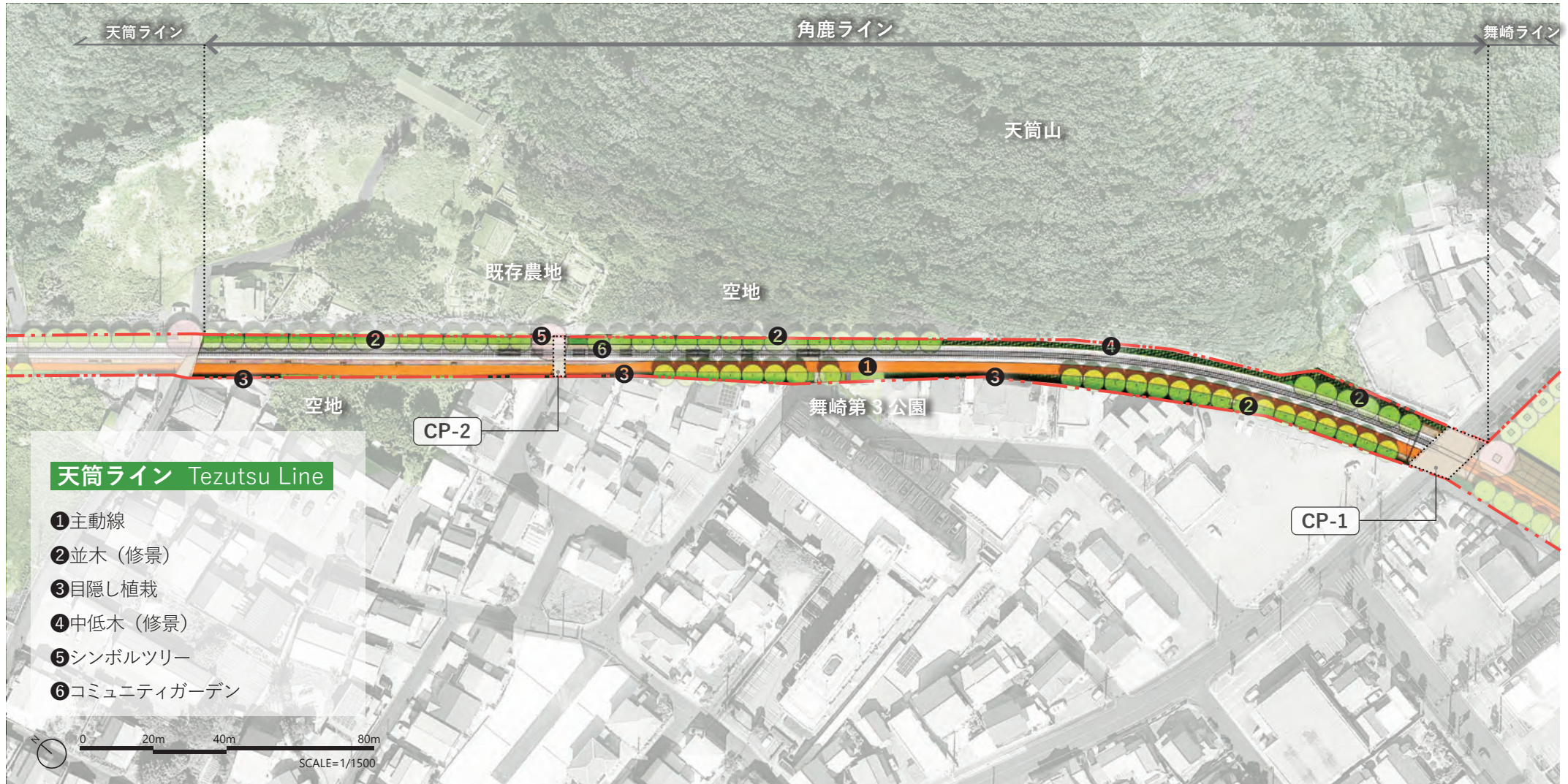
「環境学習，植栽基盤を提供する緑の带状空間」

整備方針イメージ



(3) 角鹿ライン：環境学習，植栽基盤を提供する緑の帯状空間

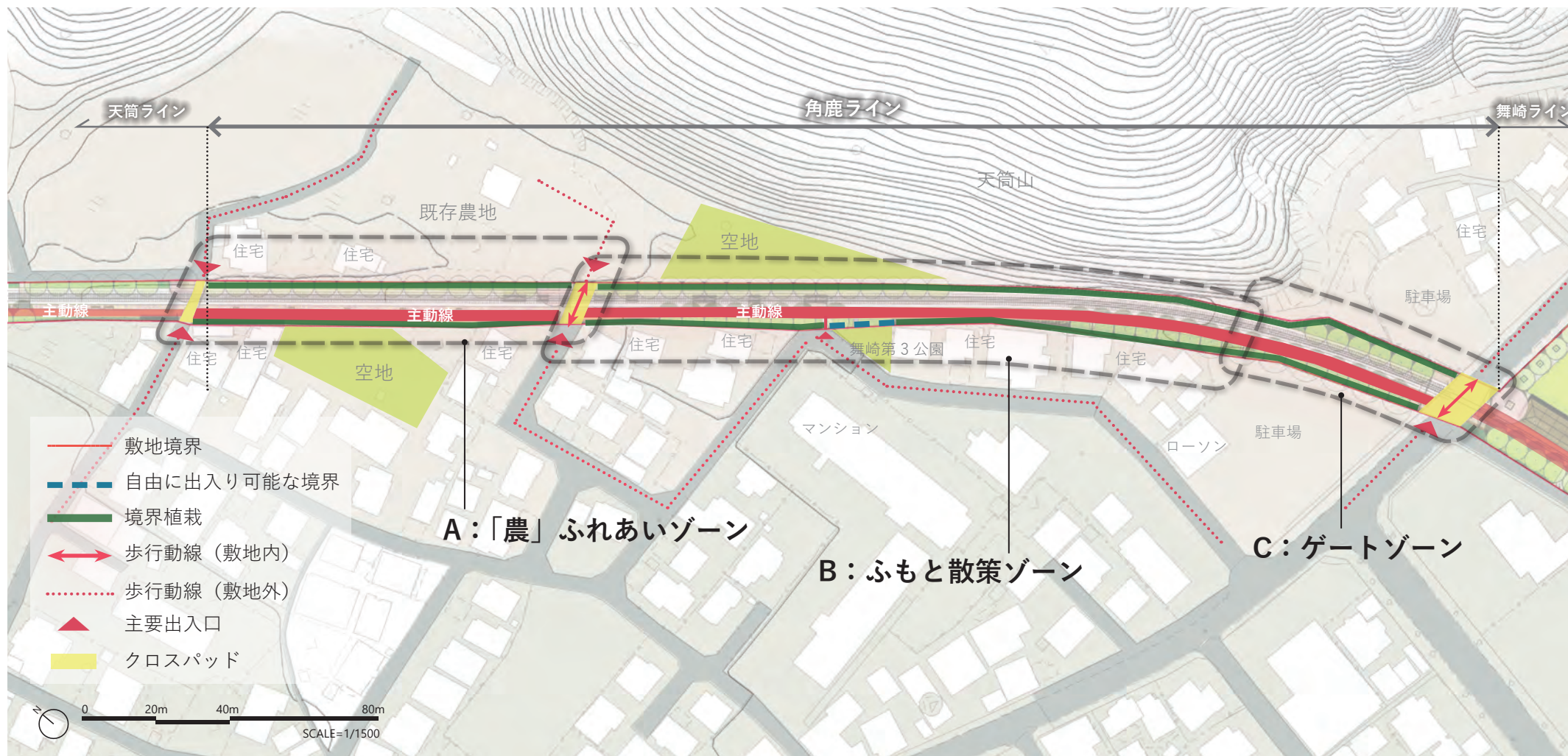
①計画平面図



(3) 角鹿ライン：環境学習，植栽基盤を提供する緑の帯状空間

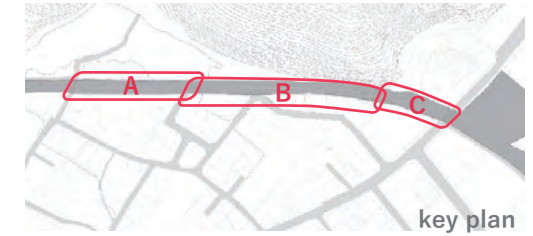
②ゾーニング

- ・ゲートゾーン：幹線道路と接し間口の広い主要出入口の顔としてふさわしい設え
- ・ふもとと散策ゾーン：天筒山に隣接しみどりに包まれた区間は歩きながら身近に自然を感じられる空間
- ・「農」ふれあいゾーン：周辺の空地や既存農地と連携し、敦賀の自然と人の関わりが顕在化する空間
- ・天筒山と接する境界は山との連続性に配慮し、みどりの修景により土留めなどの既存構造物を隠す



(3) 角鹿ライン：環境学習，植栽基盤を提供する緑の帯状空間

③ゾーンのイメージ



A：「農」ふれあいゾーン



- # 隣接する農地・農園との連携
- # 地域で育てるコミュニティファーム
- # 子どもの自然体験

B：ふもとと散策ゾーン



- # 天筒山が隣接する自然空間
- # 山との連続性
- # 山に包まれた散策路
- # 空き地・公園との連携
- # 自然学習

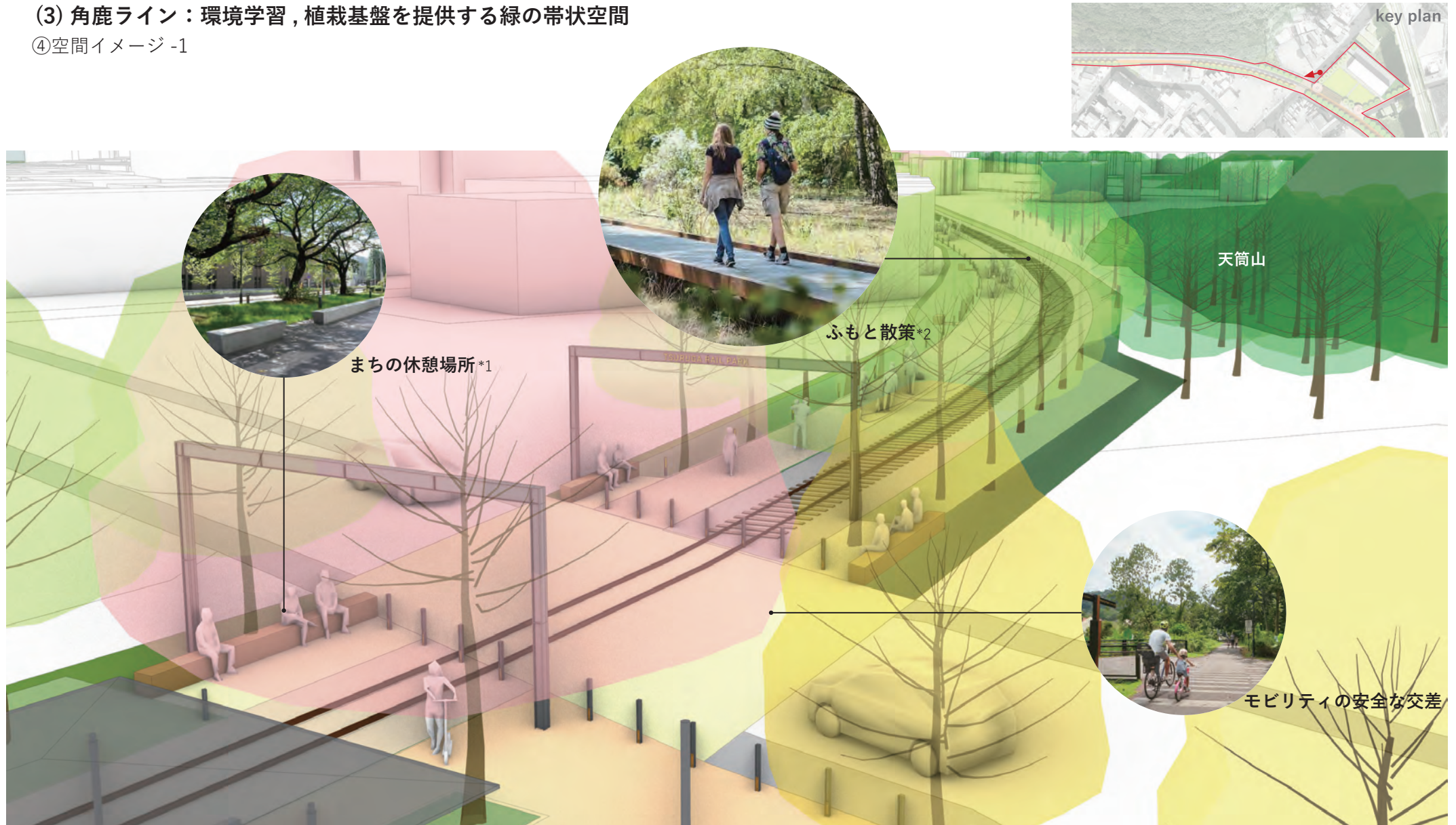
C：ゲートゾーン



- # 幹線道路からの入口
- # 鉄道の原風景が始まる空間

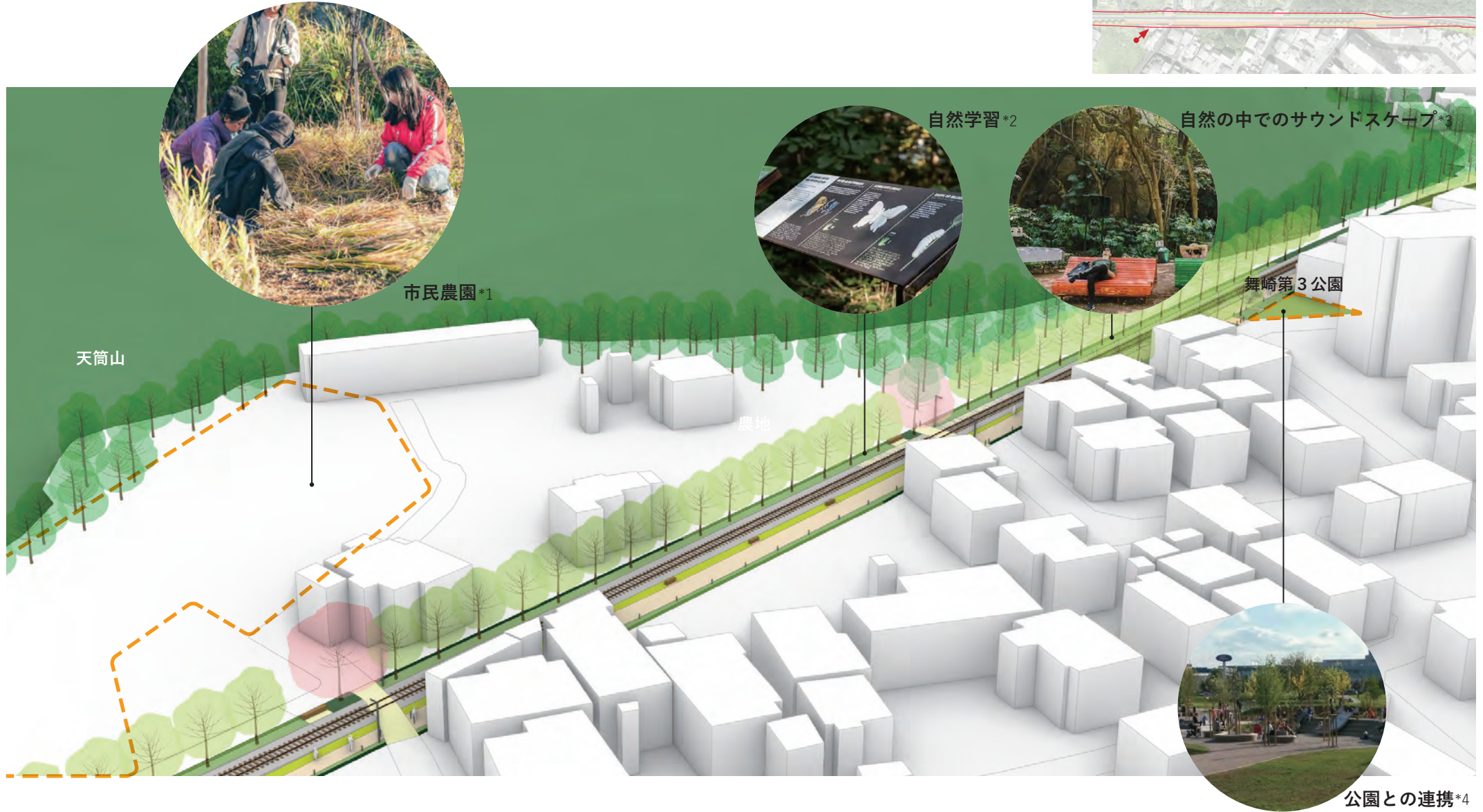
(3) 角鹿ライン：環境学習，植栽基盤を提供する緑の帯状空間

④空間イメージ -1



(3) 角鹿ライン：環境学習，植栽基盤を提供する緑の帯状空間

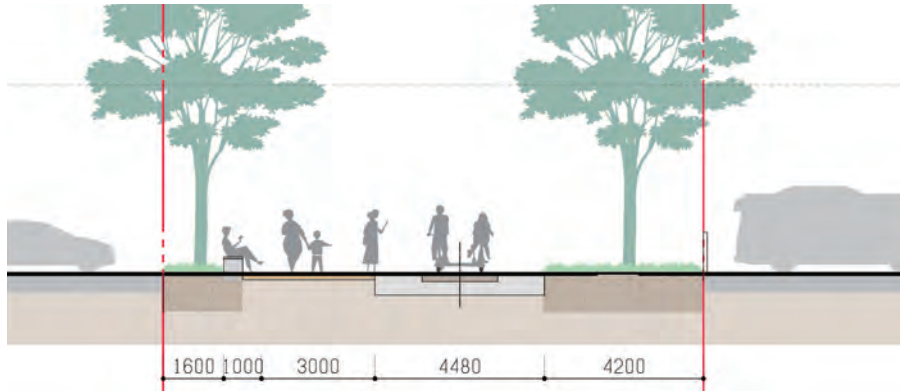
④空間イメージ-2



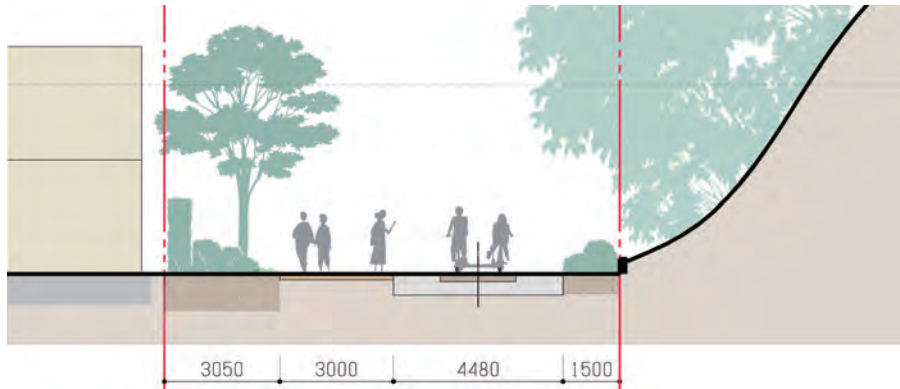
(3) 角鹿ライン：環境学習，植栽基盤を提供する緑の帯状空間

⑤計画断面図

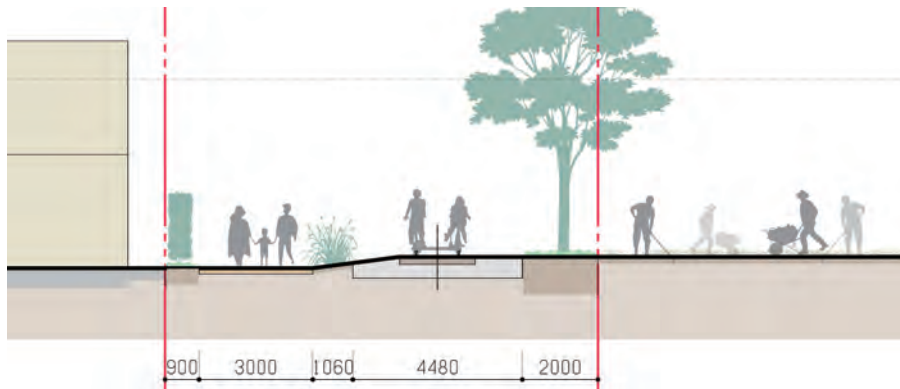
A-A' 断面



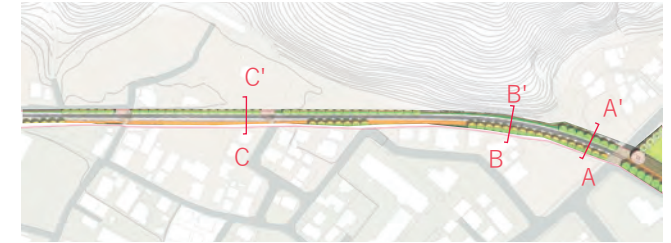
B-B' 断面



C-C' 断面



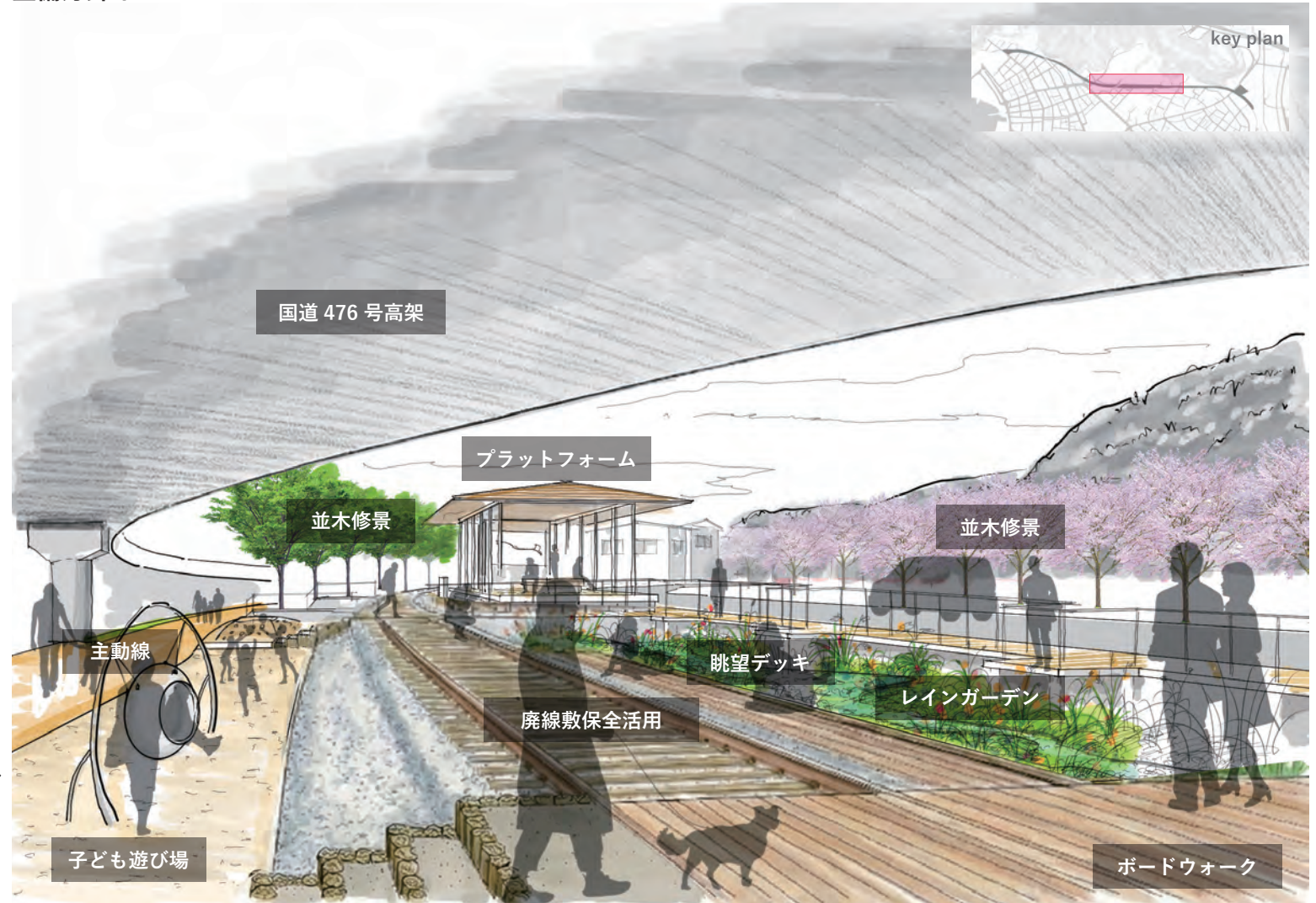
SCALE=1:200



(4) 天筒ライン

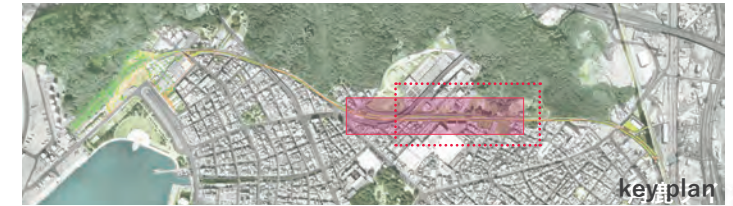
氣比神宮、氣比の杜整備構想エリア、角鹿小中学校などと連携し天筒山への玄関となる東の中心。天筒山を借景に人々の多種多様な活動・遊びの受け皿となる空間。「多様な活動や遊びを可能にする空間」

整備方針イメージ



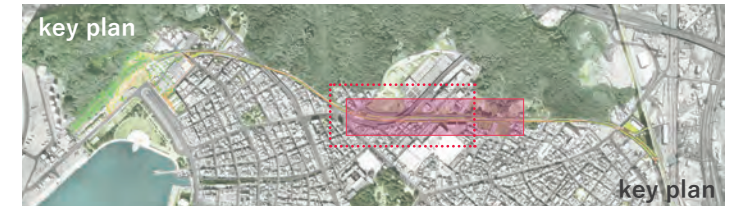
(4) 天筒ライン：多様な活動や遊びの受け皿となる空間

①計画平面図 -1



(4) 天筒ライン：多様な活動や遊びの受け皿となる空間

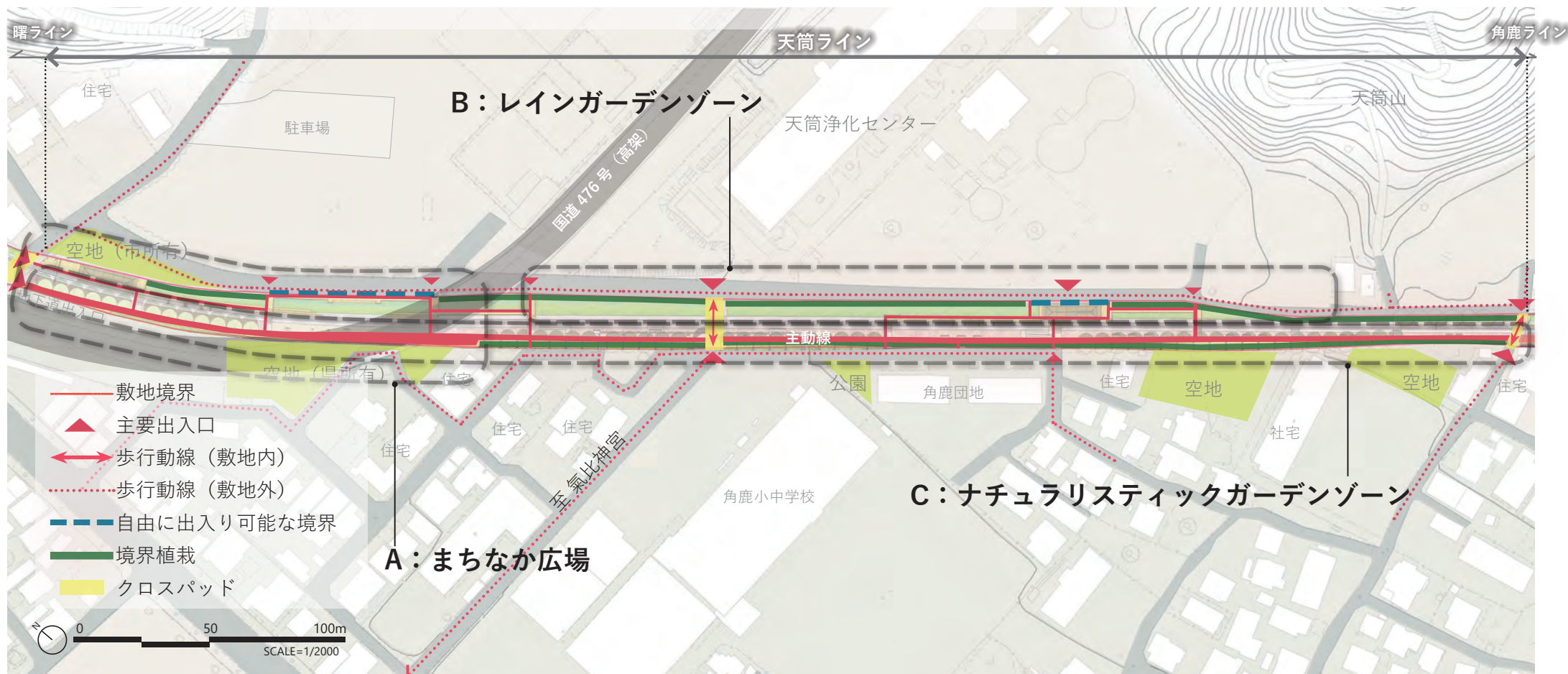
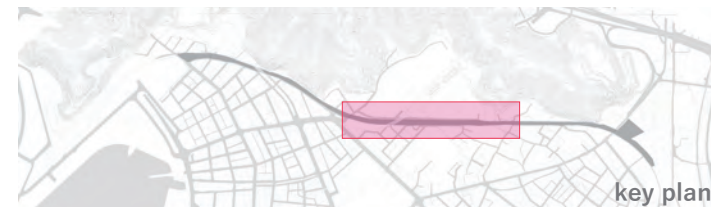
①計画平面図 -2



(4) 天筒ライン：多様な活動や遊びの受け皿となる空間

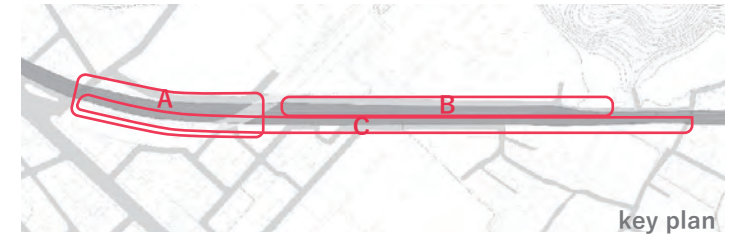
②ゾーニング

- ・ レインガーデンゾーン：敷地東側の高低差のある既存地形を活かしグリーンインフラ機能を備えた、歩きながら身近に自然を感じられるエリア。
- ・ ナチュラルスティックガーデンゾーン：周辺建物が少なく開放的な敷地西側の既存の法面における、地域の自然草本を主体とした四季の移り変わりを体験できるリニア状の空間。
- ・ まちなか広場：広い面で連携活用できる国道476号高架下空間や敷地の幅員を活かしプラットフォームを含む多様な滞在空間を設け、天筒山への眺望を楽しめるエリア。
- ・ 隣接する空地と一体利用が可能な設え。



(4) 天筒ライン：多様な活動や遊びの受け皿となる空間

③ゾーンのイメージ



A：まちなか広場



- # 幅員の広い空間を利用した子どもの遊び場
- # 天筒山への眺望を楽しむ滞在空間
- # 氣比神宮、商店街、氣比の杜整備構想エリア、角鹿小中学校と繋がる
- # 隣接する空き地の有効活用 # 高架下空間の活用

B：レインガーデンゾーン



- # 線路敷の高低差を活かした雨庭
- # 既存の側溝をグリーンインフラへ再編

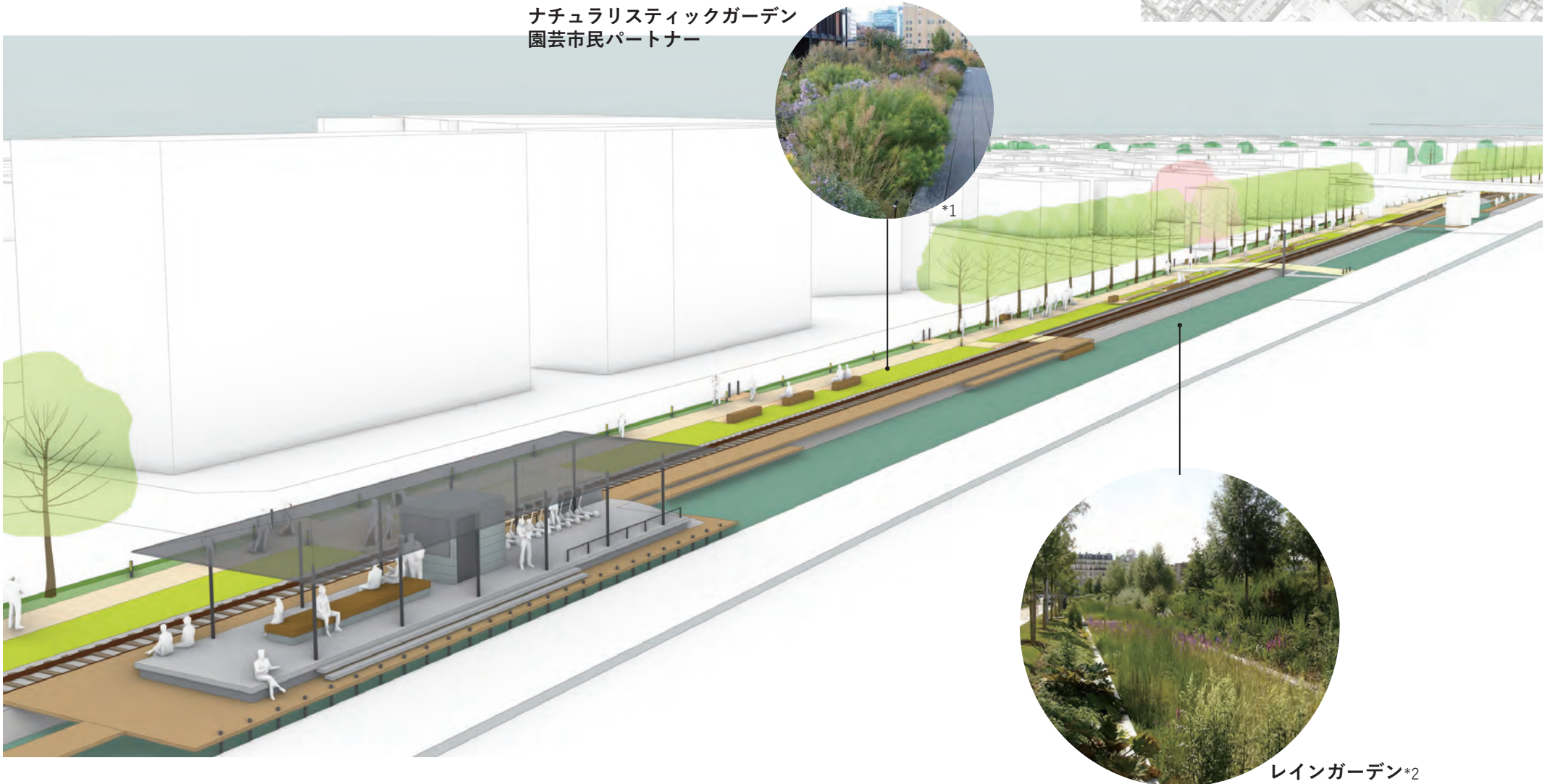
C：ナチュラルスティックガーデンゾーン



- # 開けた日向空間
- # 天筒山への眺望を強調する植栽
- # 年中楽しめる四季の移ろい
- # 共に育てる市民園芸パートナー

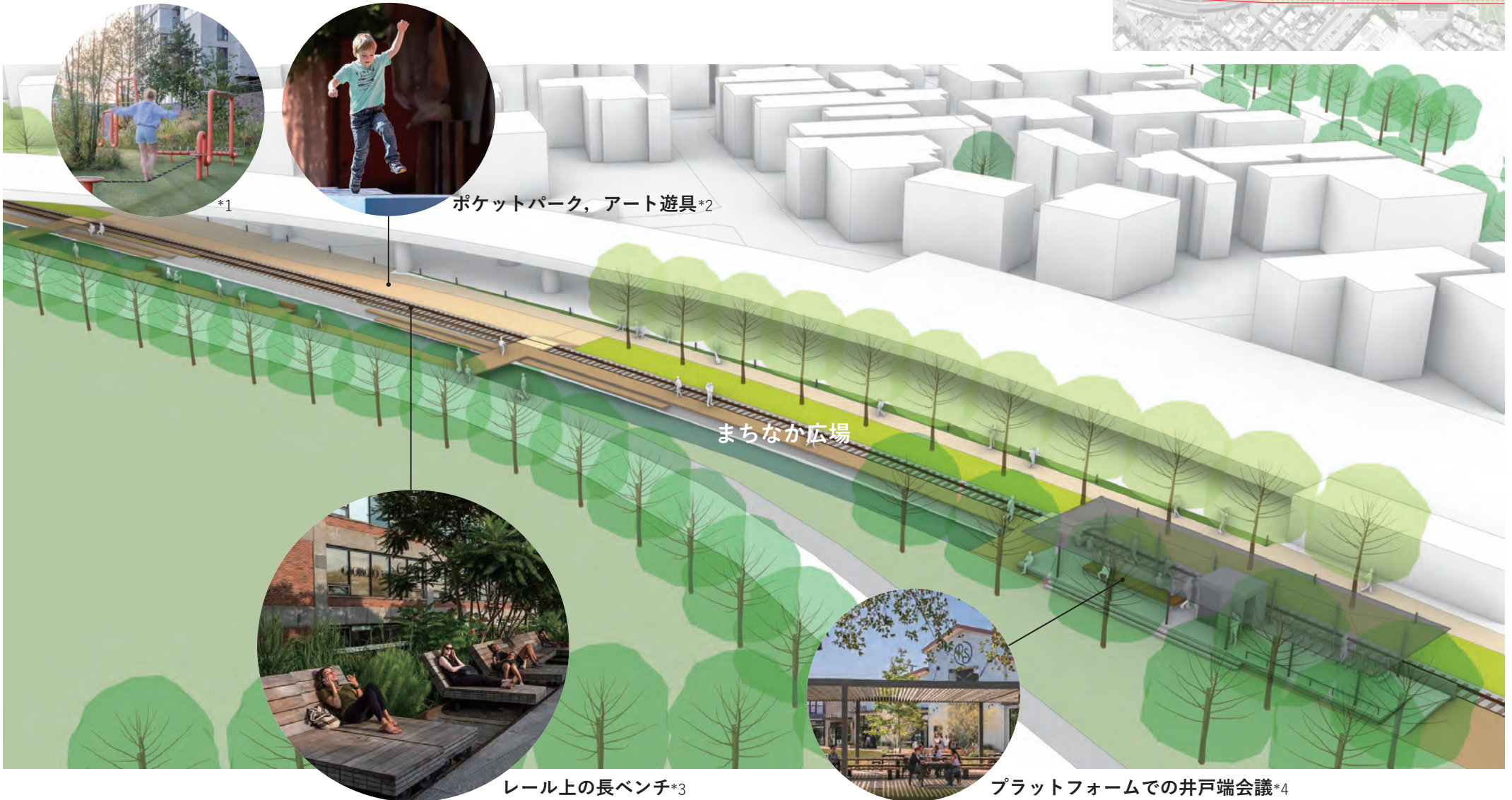
(4) 天筒ライン：多様な活動や遊びの受け皿となる空間

④空間イメージ -1



(4) 天筒ライン：多様な活動や遊びの受け皿となる空間

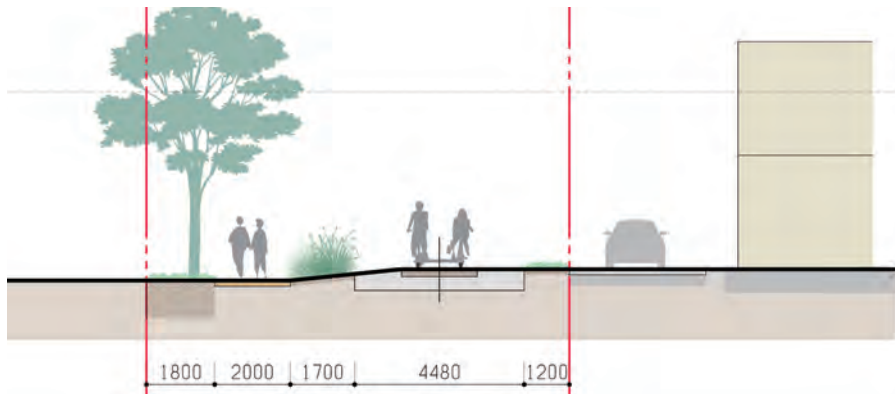
④空間イメージ-2



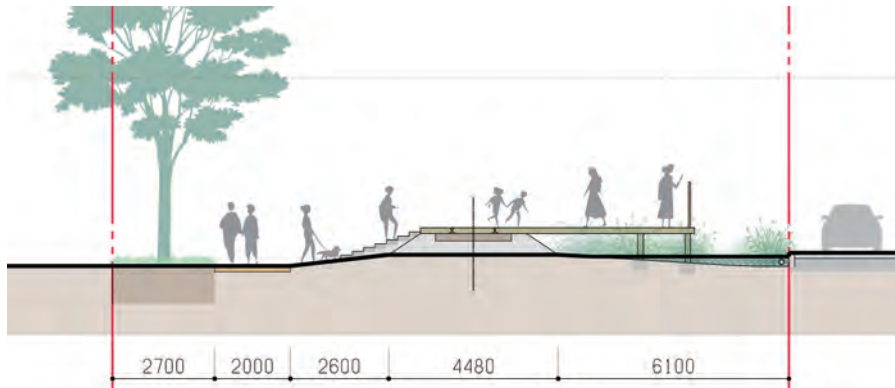
(4) 天筒ライン：多様な活動や遊びの受け皿となる空間

⑤計画断面図 -1

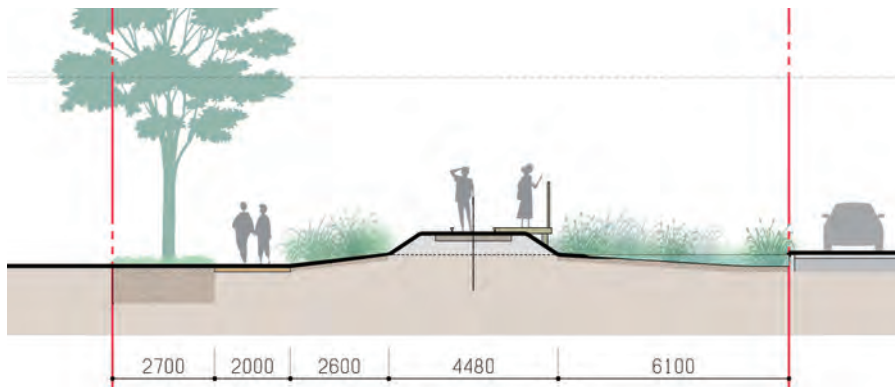
A-A' 断面



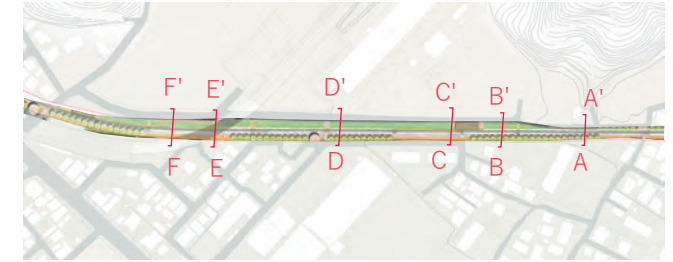
B-B' 断面



C-C' 断面



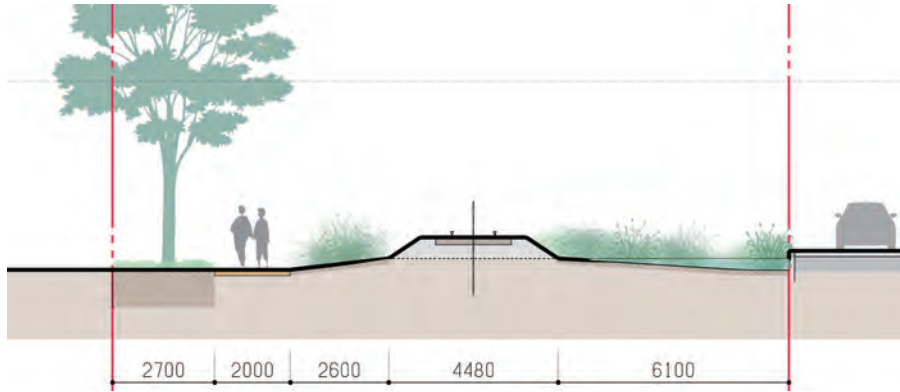
SCALE=1 : 200



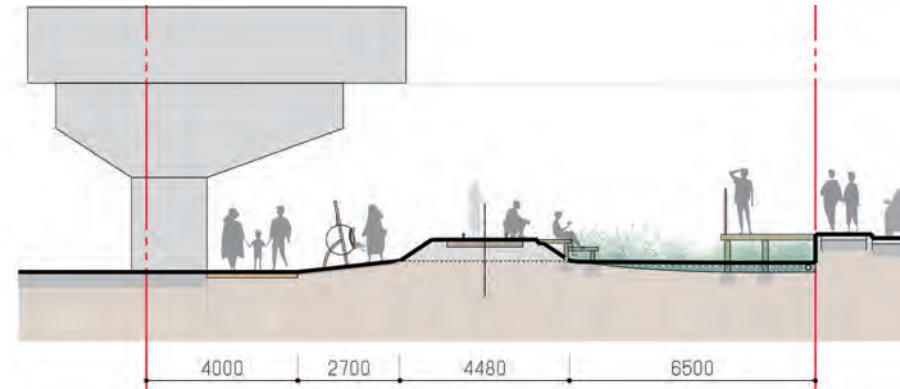
(4) 天筒ライン：多様な活動や遊びの受け皿となる空間

⑤計画断面図 -2

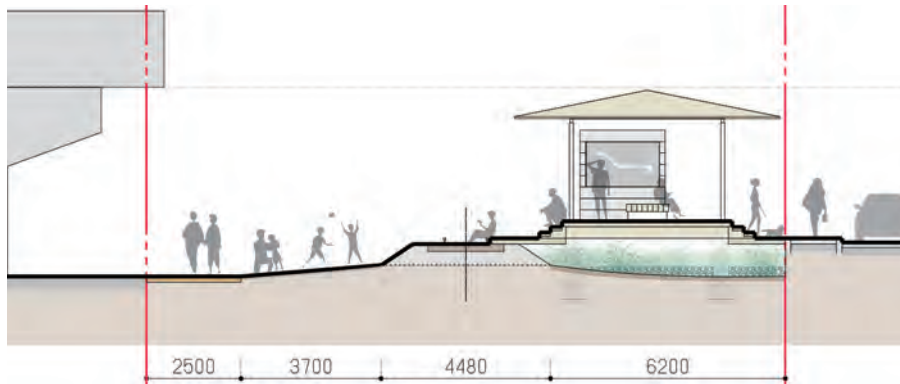
D-D' 断面



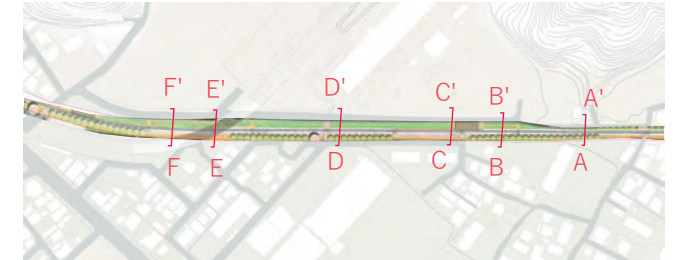
E-E' 断面



F-F' 断面



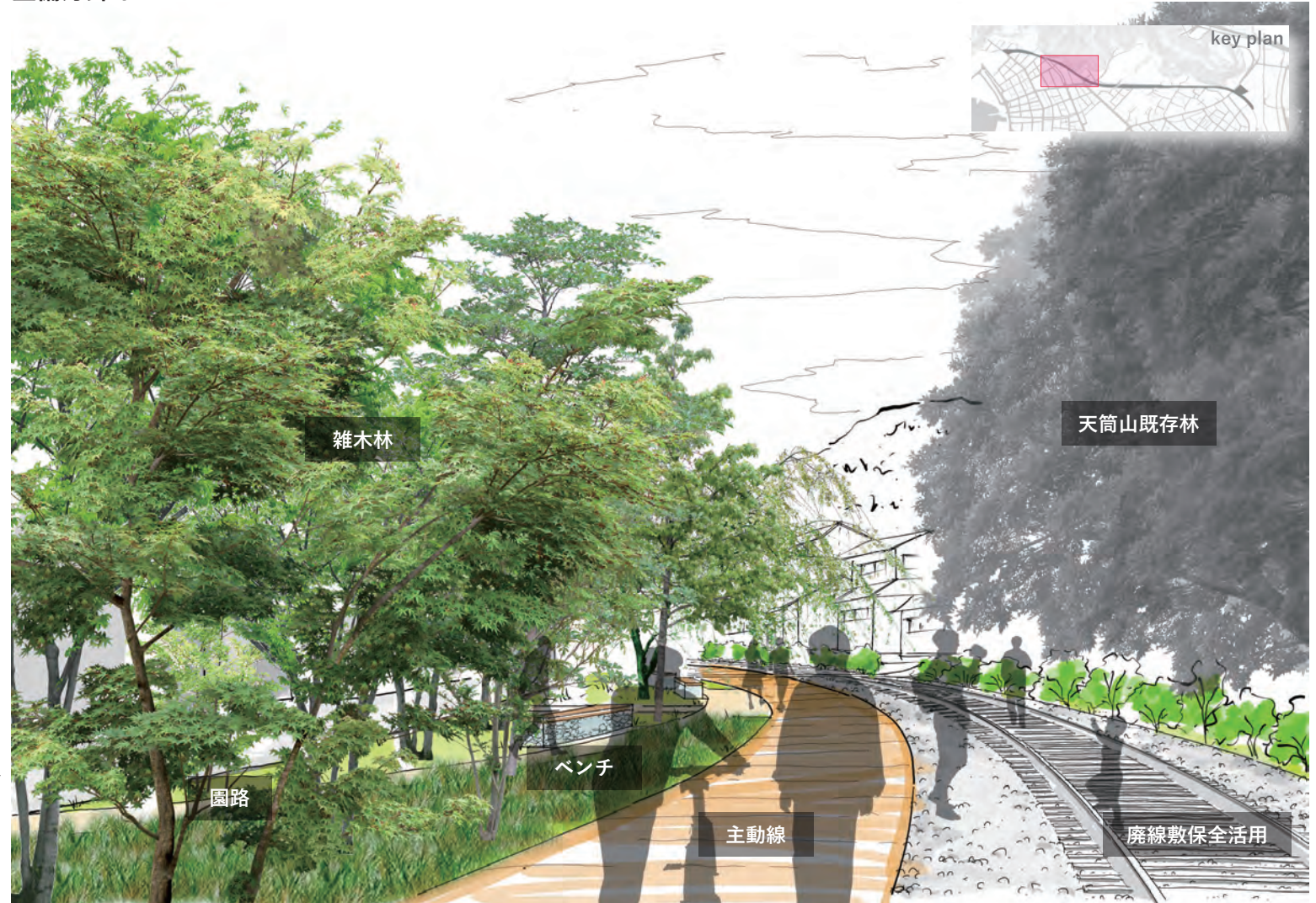
SCALE=1 : 200



(5) 曙ライン

まちから人々を迎え入れ、四季の移ろいを感じることができる散策空間。
「文化イベント, 周辺住民の安らぎ・憩いの場」

整備方針イメージ



(5) 曙ライン：文化イベント，周辺住民の安らぎ・憩いの場

① 計画平面図



(5) 曙ライン：文化イベント，周辺住民の安らぎ・憩いの場

③ゾーンのイメージ



A：自然散策ゾーン



- # 天筒山の雑木林が拡張する空間
- # 里山の四季を感じる風景
- # 西側敷地の幅員を生かした散策路

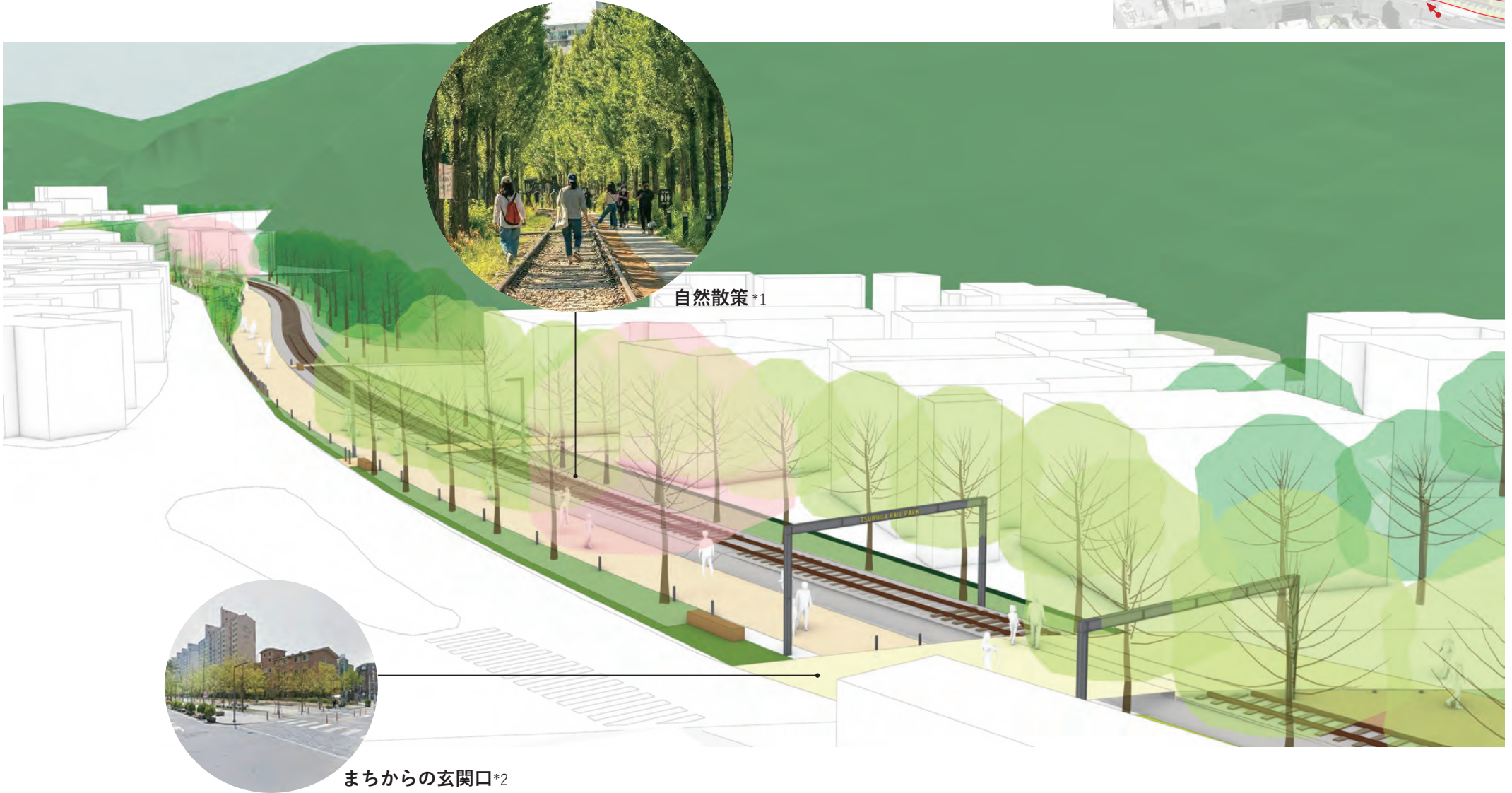
B：ゲートゾーン



- # 街からの主要な玄関口
- # 高い視認性
- # 天筒山登山口への入口
- # 情報発信拠点

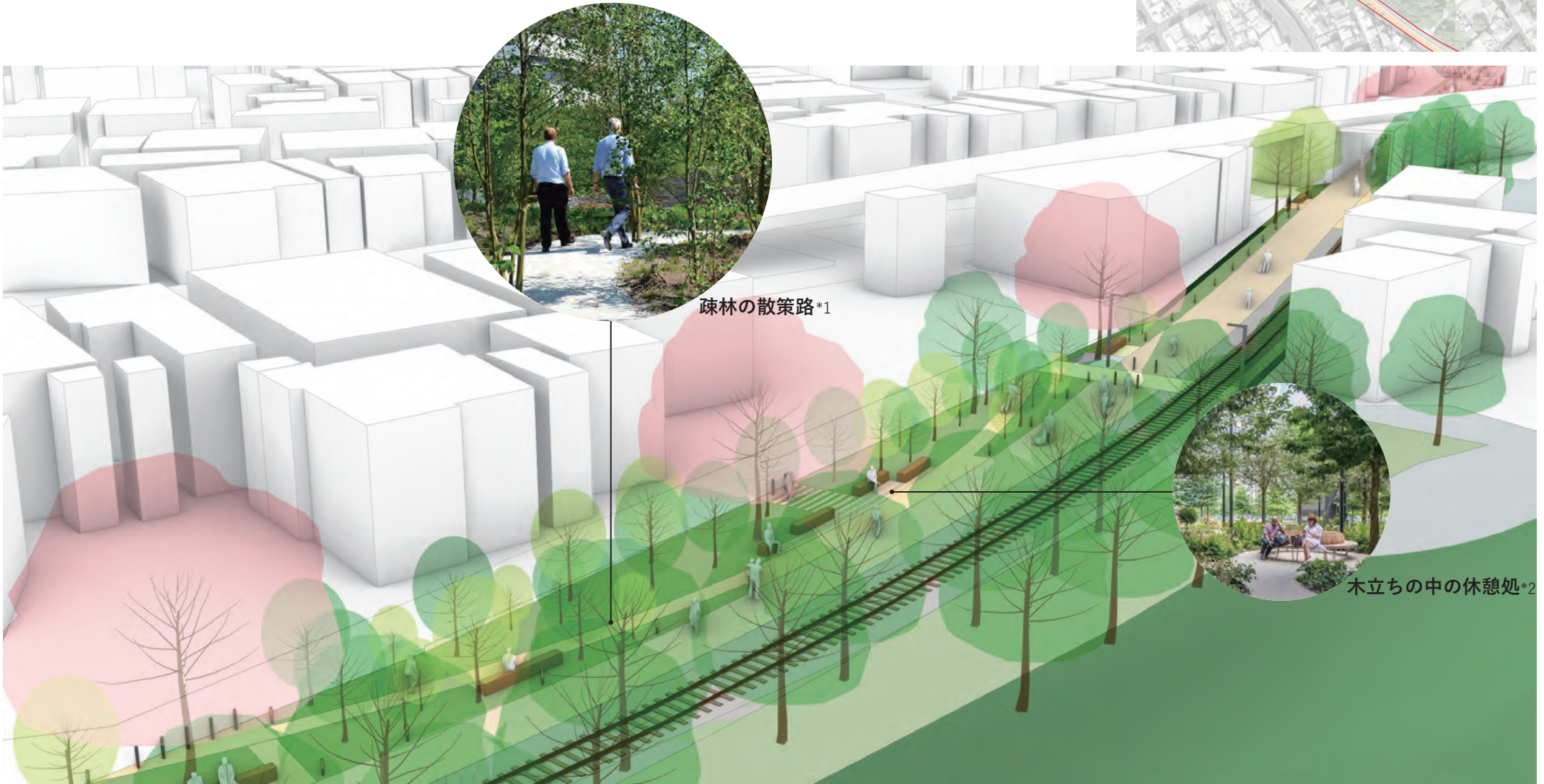
(5) 曙ライン：文化イベント，周辺住民の安らぎ・憩いの場

④空間イメージ -1



(5) 曙ライン：文化イベント，周辺住民の安らぎ・憩いの場

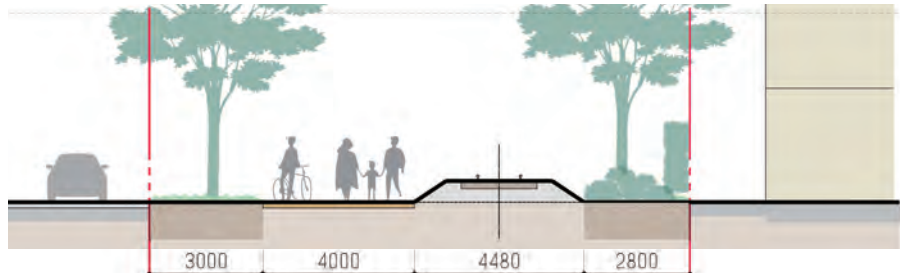
④空間イメージ-2



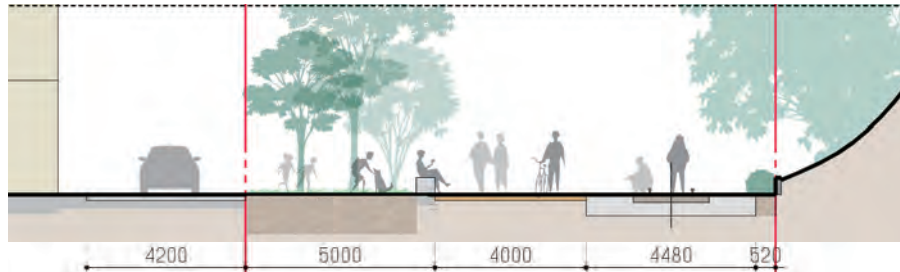
(5) 曙ライン：文化イベント，周辺住民の安らぎ・憩いの場

⑤計画断面図

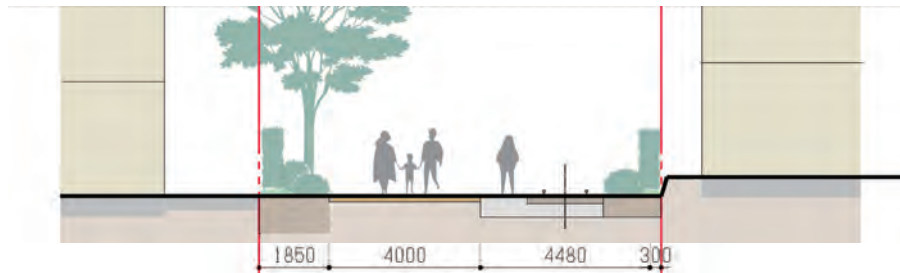
A-A' 断面



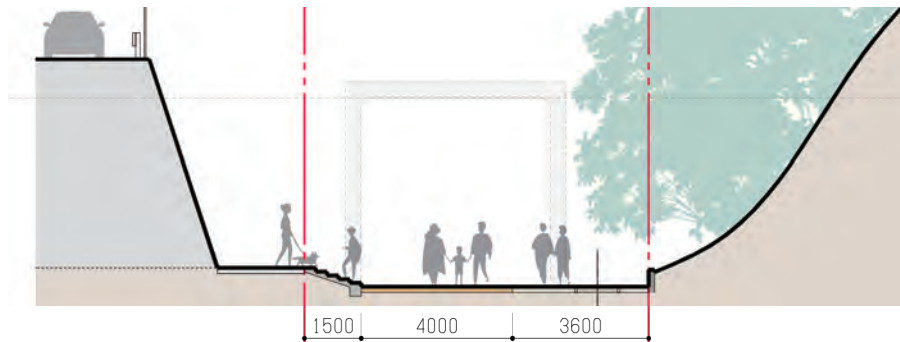
B-B' 断面



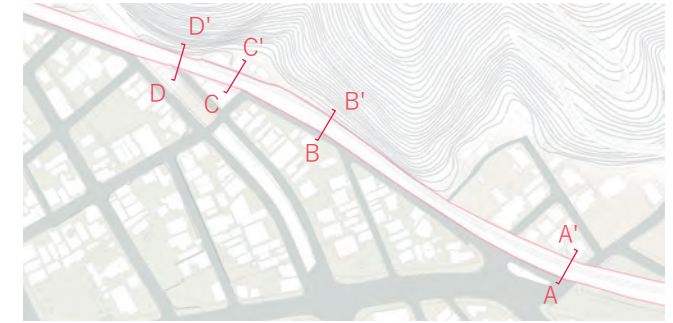
C-C' 断面



D-D' 断面



SCALE=1 : 200



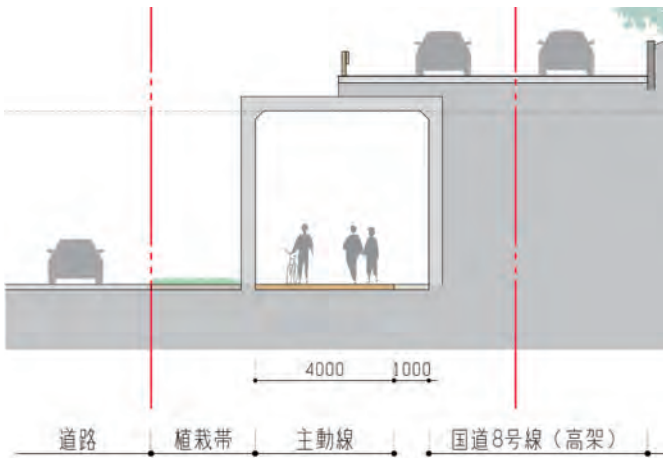
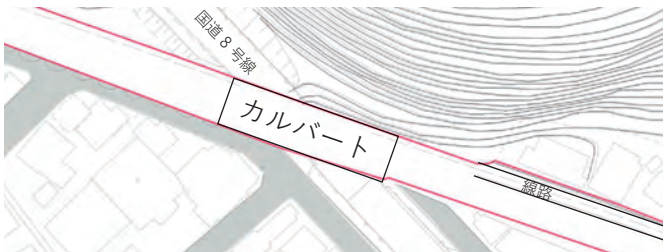
(6) カルバート

○国道8号線の高架下に位置するカルバート内を、様々なイベントに活用可能な空間として整備する。

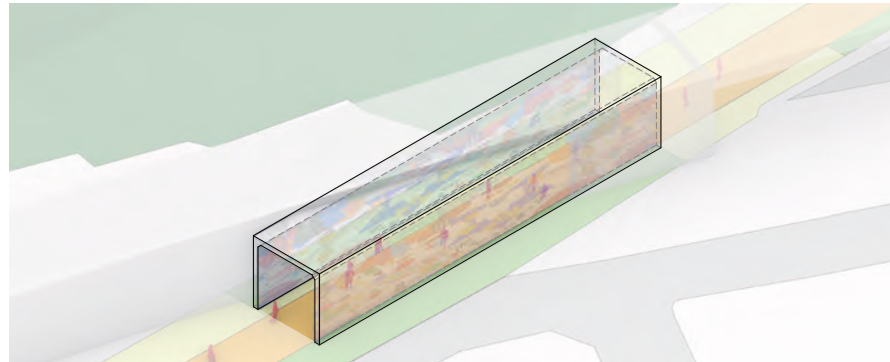
現況断面図



計画平面・断面図



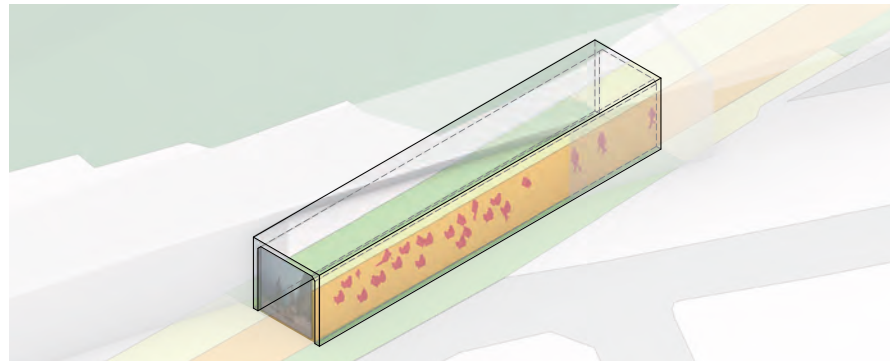
壁画アート



191st ストリート・トンネル, NY



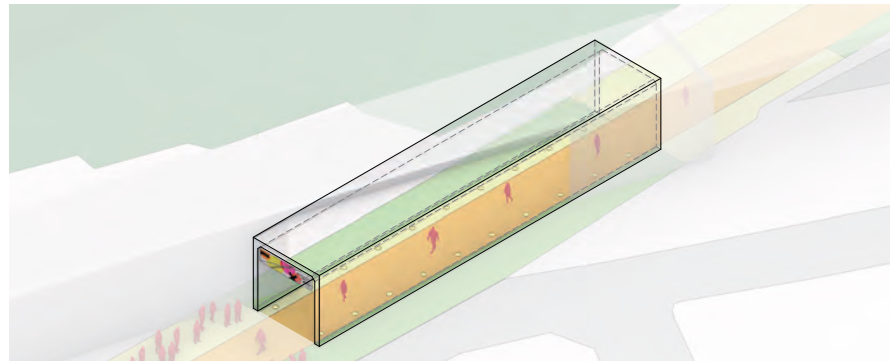
映画上映



ラ・ルシクルリー, フランス



ランウェイ



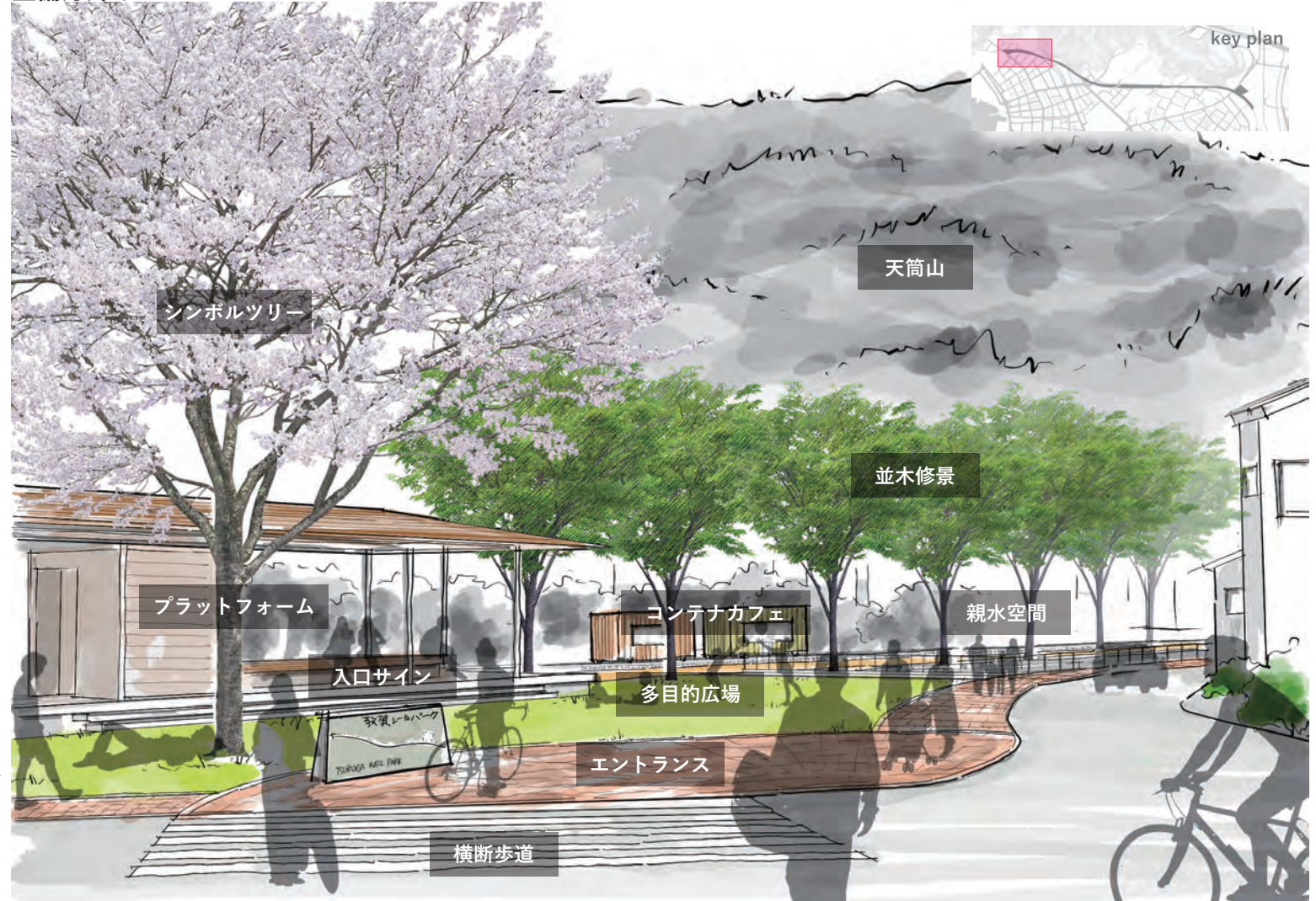
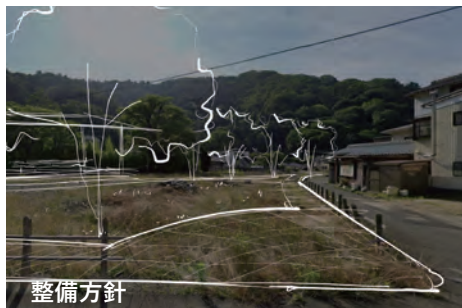
ミホ・ミュージアム, 滋賀



(7) 金ヶ崎ライン

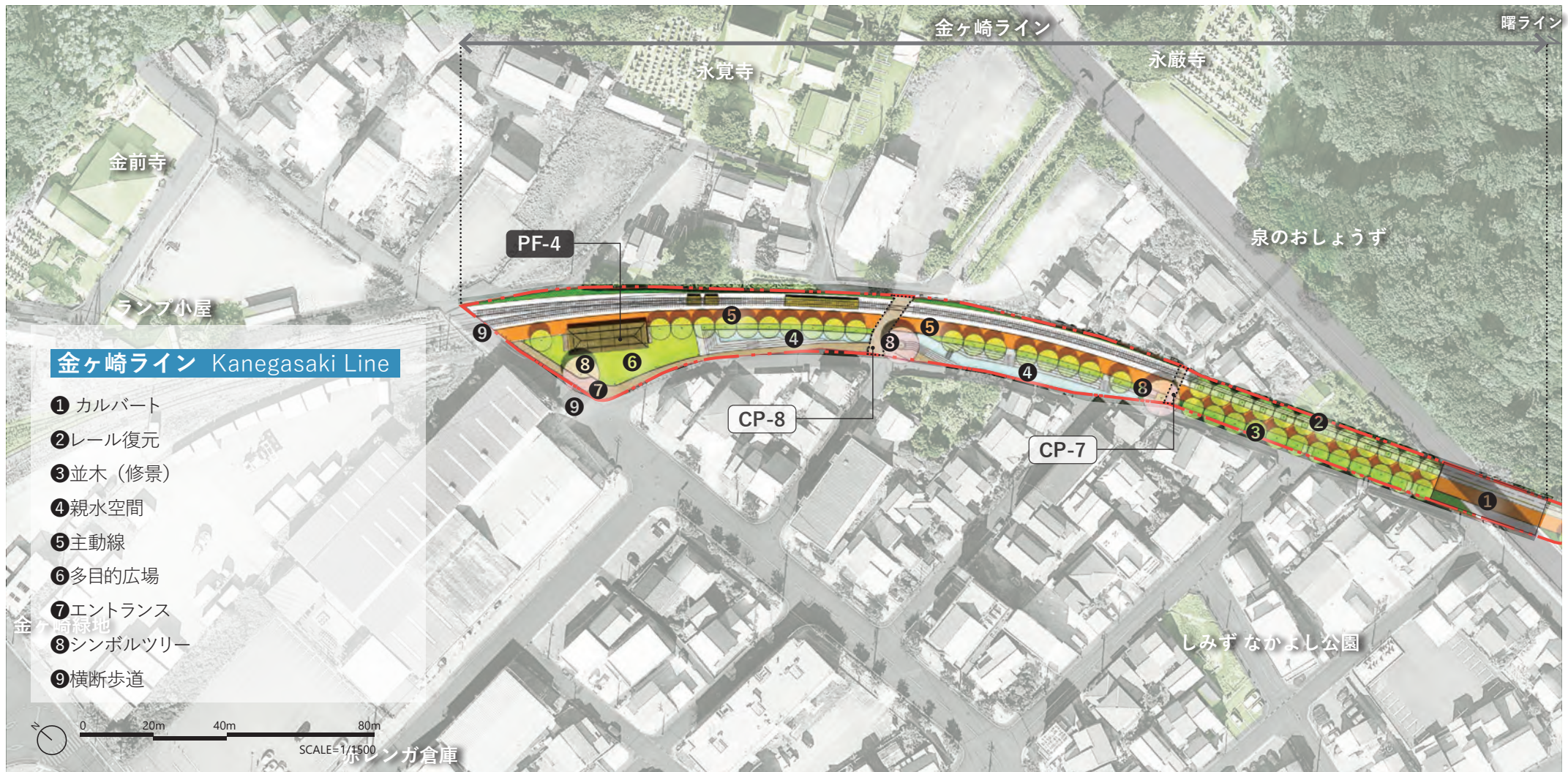
敦賀港周辺に多く点在する「鉄道と港のまち敦賀」の歴史文化を象徴し、金ヶ崎周辺整備と連携・調和する観光・回遊拠点。
「産業・アートイベントの拠点となる空間」

整備方針イメージ



(7) 金ヶ崎ライン：港エリアの歴史・文化を体感する空間

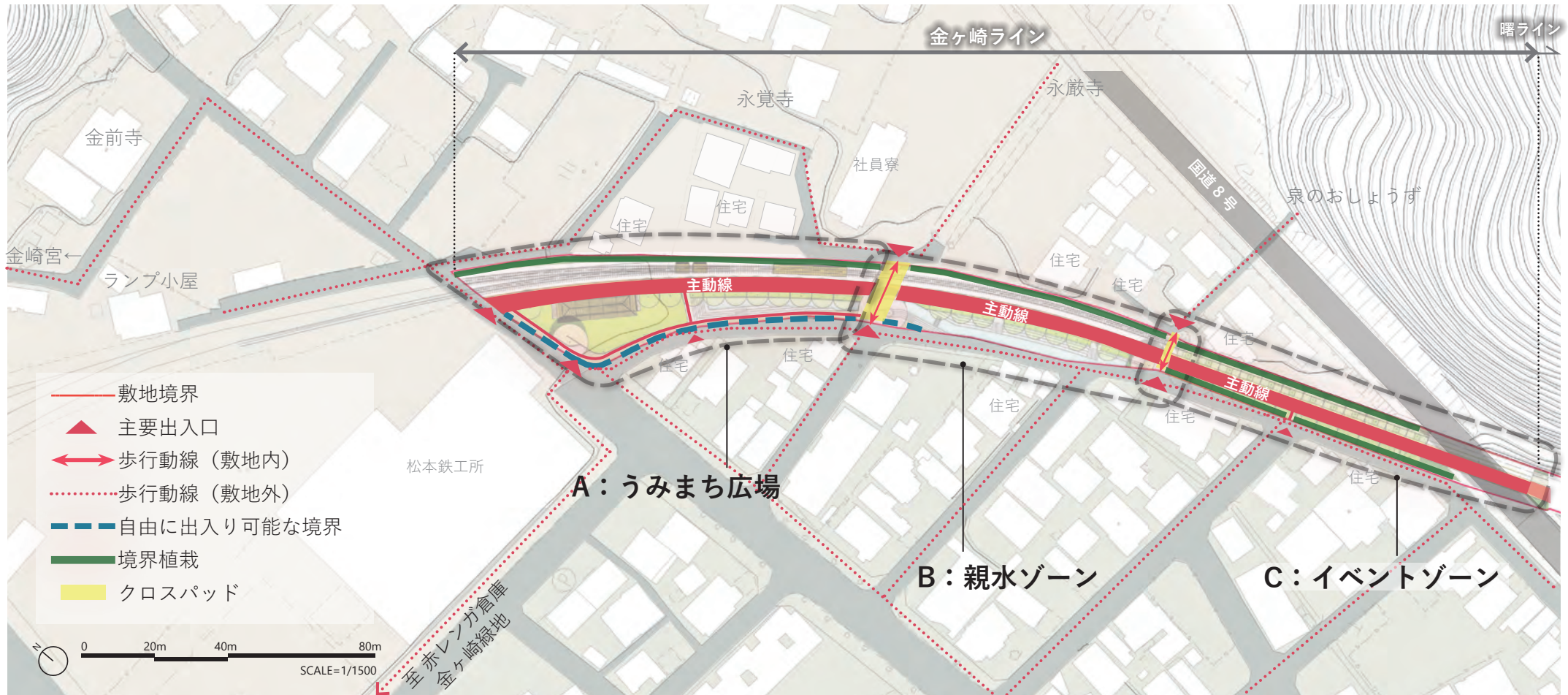
①計画平面図



(7) 金ヶ崎ライン：港エリアの歴史・文化を体感する空間

②ゾーニング

- ・ イベントゾーン：カルバート空間での映画祭やライトアップ、アート展示や屋台ストリートなどのイベントを開催できる空間。
- ・ 親水ゾーン：既存水路と地面の高低差を段状の滞在空間へ再編した親水空間。
- ・ うみまち広場：広幅員であり産業イベントや祭りなどの地域行事と連携可能な広場空間。
- ・ 金ヶ崎周辺整備事業との連携を想定した連続的な動線計画。



(7) 金ヶ崎ライン：港エリアの歴史・文化を体感する空間

③ゾーンのイメージ



A：うみまち広場



- # 敷地の北の顔となる地域交流拠点
- # 永蔵寺、金崎宮、赤レンガ倉庫との連携
- # 歴史・文化を象徴する空間
- # 金崎宮のサクラや気比の松原のマツの景観継承

B：親水ゾーン



- # 既存水路を活かした親水空間
- # 敦賀港や泉のおしょうずとの水の繋がり

C：イベントゾーン



- # カルバート空間を利用した映画祭やライトアップ
- # レールを復元し歩行路整備
- # アート展示やマルシェ等のイベントの開催

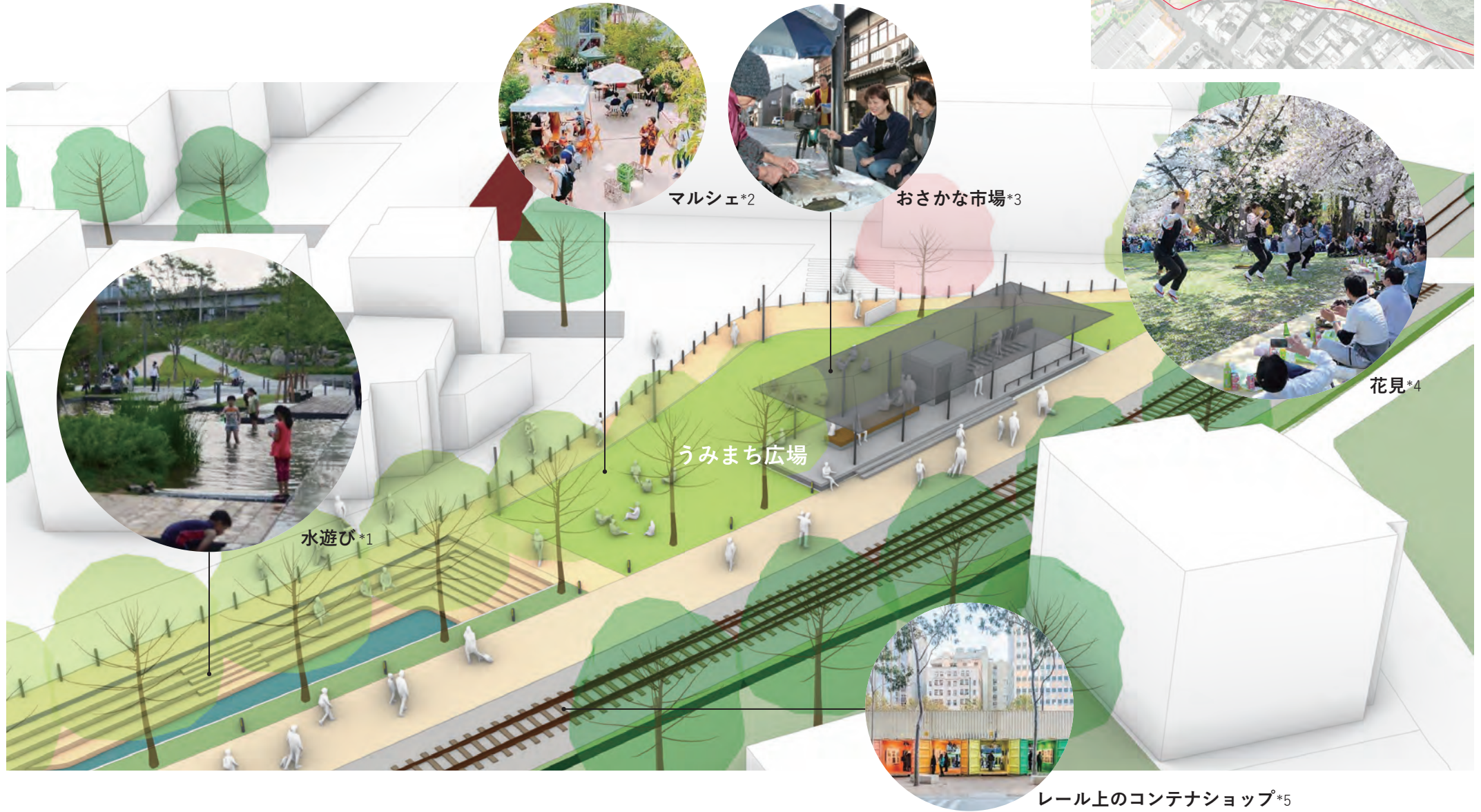
(7) 金ヶ崎ライン：港エリアの歴史・文化を体感する空間

④空間イメージ -1



(7) 金ヶ崎ライン：港エリアの歴史・文化を体感する空間

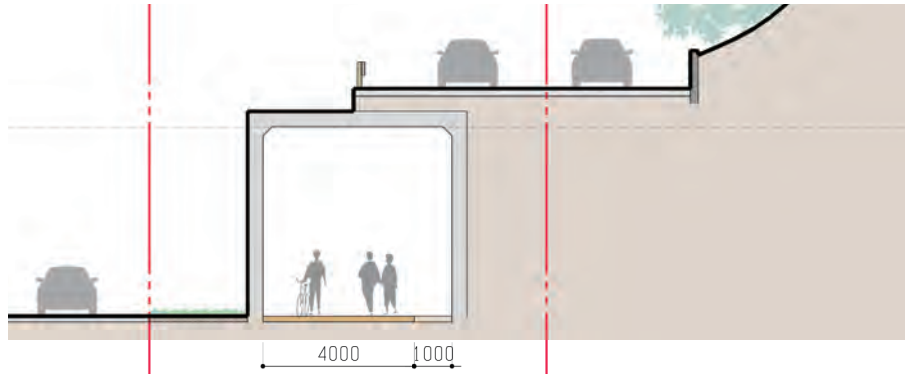
④空間イメージ-2



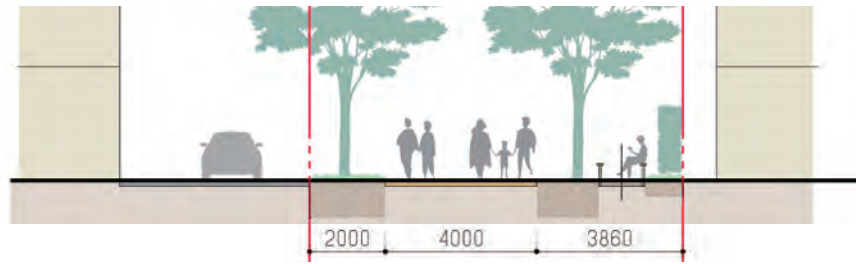
(7) 金ヶ崎ライン：港エリアの歴史・文化を体感する空間

⑤計画断面図

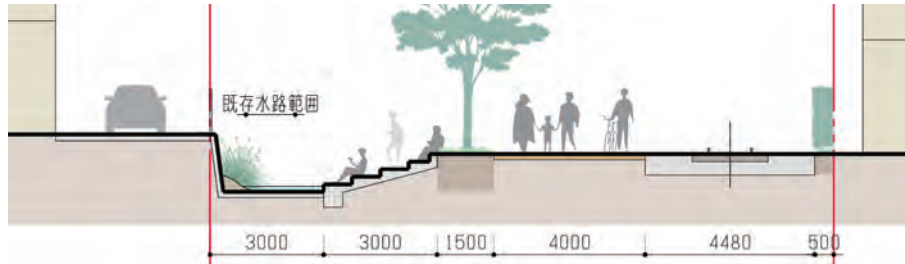
A-A' 断面



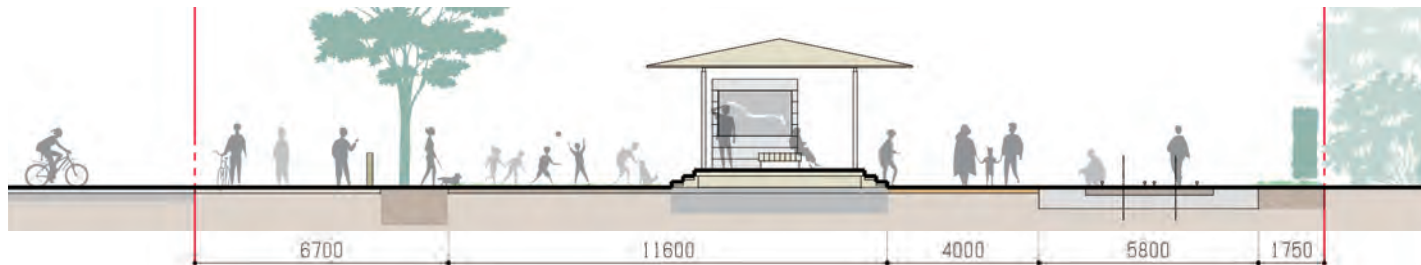
B-B' 断面



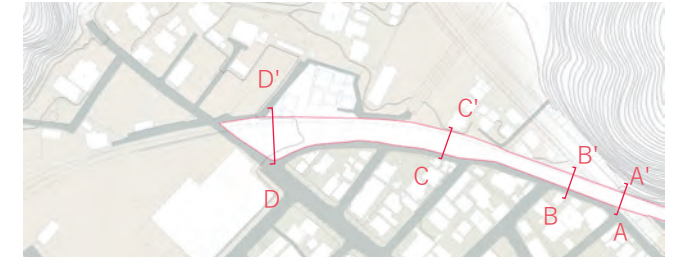
C-C' 断面



D-D' 断面



SCALE=1 : 200



2-6. 主要施設計画

(1) 広場

- くさまち広場：人々の往来が多い場所でシェアサイクル等のハブとして整備しながら、まちに開きレールパークと一体化した建物整備。
- まちなか広場：敷地幅が広く東側が開けていることや高架道路の立体空間を利用し多様なアクティビティを柔軟に受け入れる。
- うみまち広場：歴史文化資源と連携した回遊動線の拠点的形成し、連続性のある景観を創出。湧水を活用した親水空間の整備。



うみまち広場



まちなか広場



くさまち広場



(1) 広場

①くさまち広場

○平面図

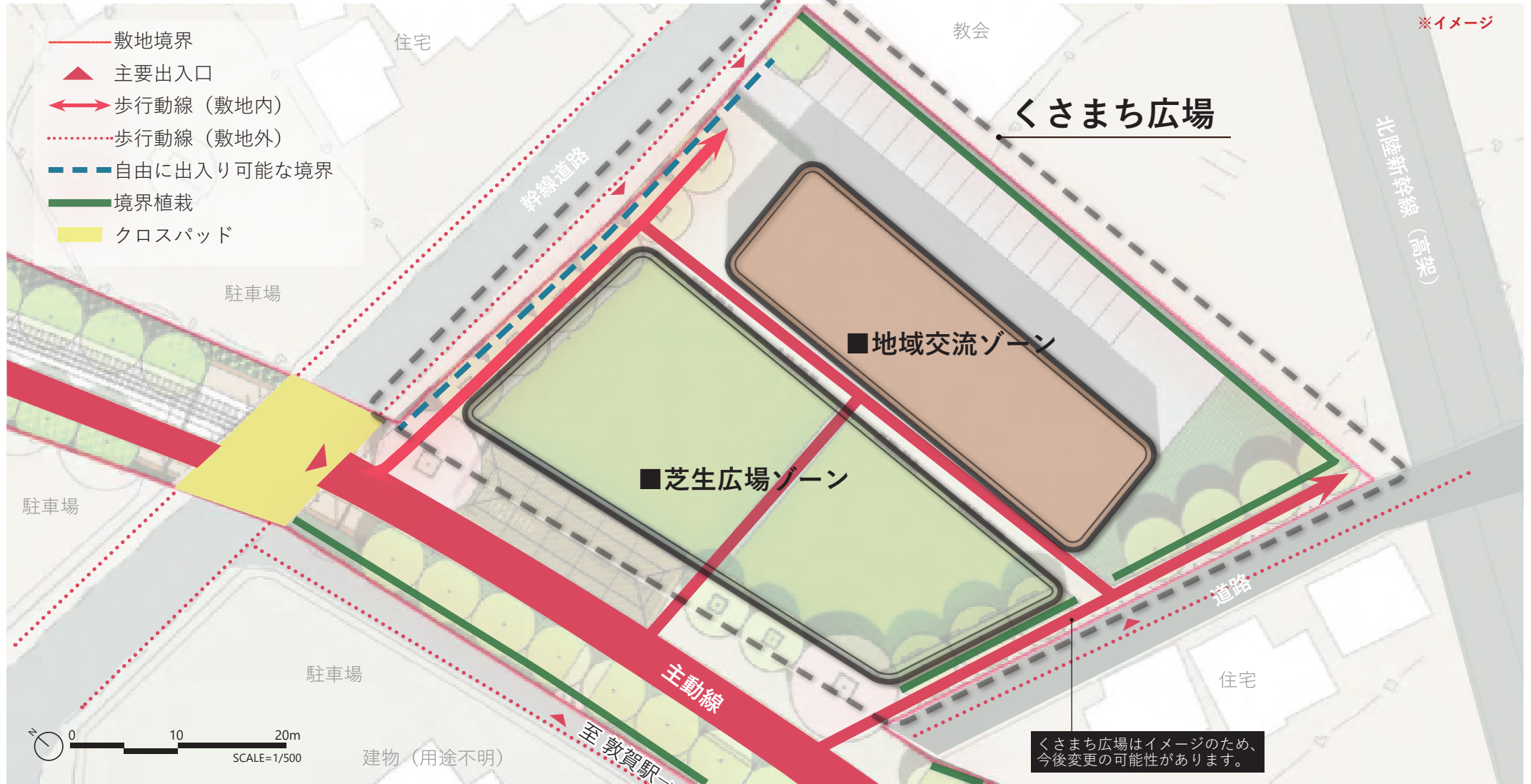


(1) 広場

①くさまち広場

○ゾーニング

- ・芝生広場ゾーン：広い芝生広場を確保し、天筒山の麓に人々が生き生きと活動する風景を創出。
- ・地域交流ゾーン：屋内外が一体となる空間を形成し、来訪者と地域住民の交流の場を整備。



(1) 広場

①くさまち広場

○イメージ



昼休みに一息つく
サラリーマン

読書を楽しむ
お父さん

秋晴れの下ランニン
グを楽しむお兄さん
プラットフォームで
休憩する観光客

買い物帰りの
お姉さん

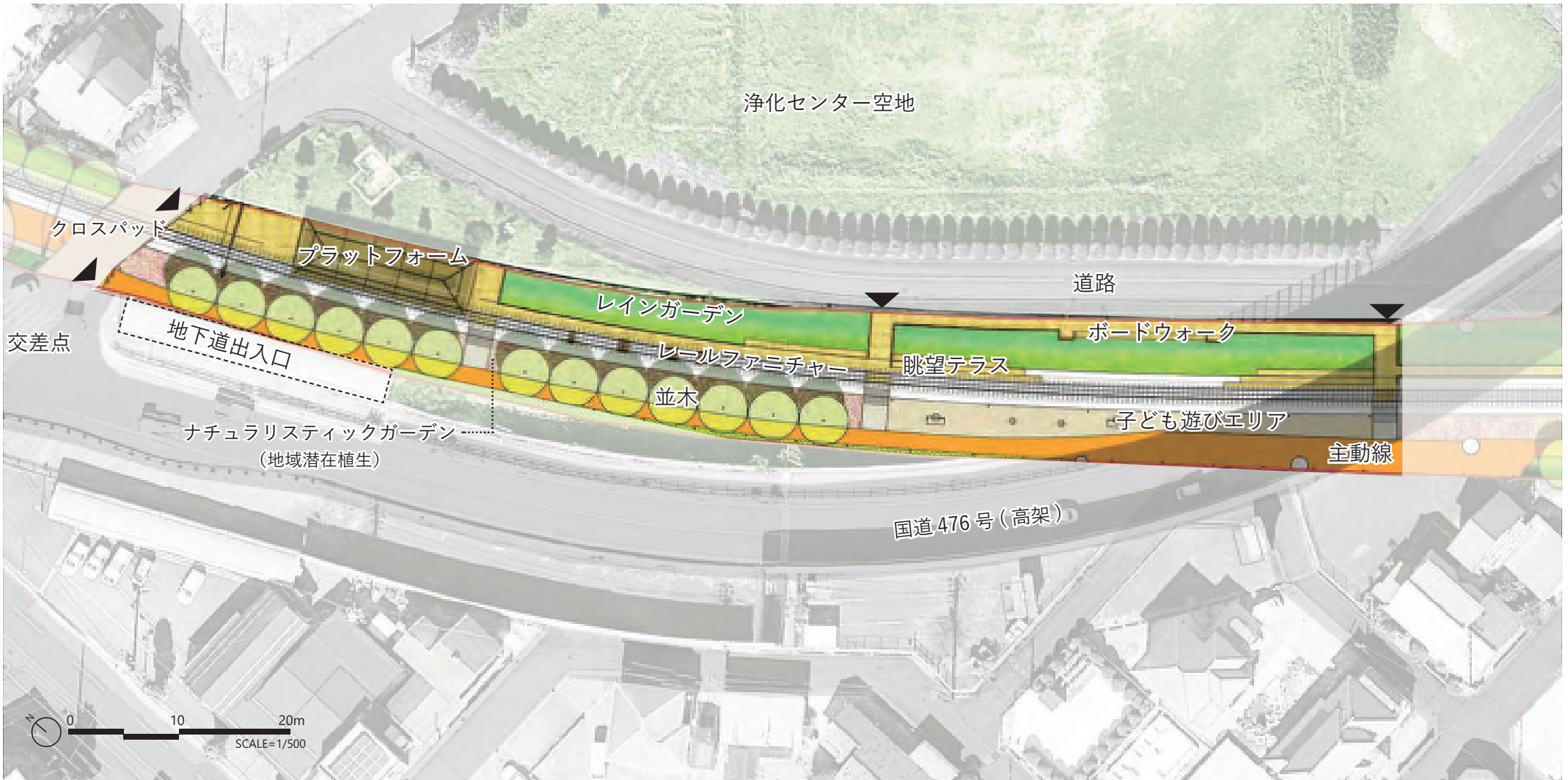
自然とはじまる
井戸端会議

くさまち広場はイメージのため、
今後変更の可能性があります。

(1) 広場

②まちなか広場

○平面図

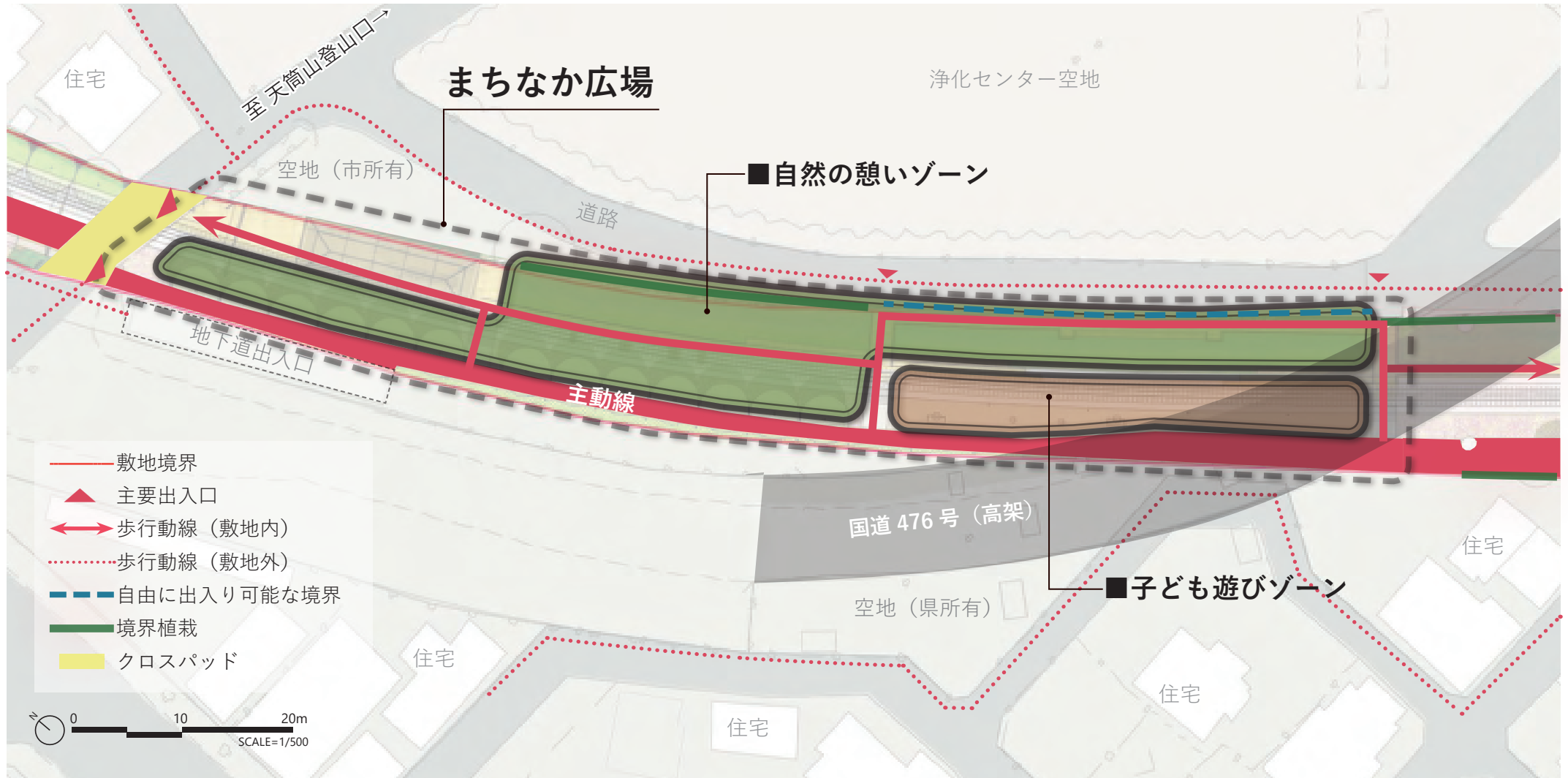


(1) 広場

② まちなか広場

○ ゾーニング

- ・ 自然の憩いゾーン：現状地形を活かしレインガーデンやナチュラルスティックガーデンを整備。身近な自然とふれあいながら天筒山を眺望する多様な緑環境に囲まれた空間の形成。
- ・ 子ども遊びゾーン：広い幅員を活かして遊具を配置し、子どもたちの自由な遊び空間を整備。



(1) 広場

②まちなか広場

○イメージ



仕事終わりにランニングする近所の住民

お兄ちゃんお姉ちゃんの帰りを遊びながら待つ子どもと保護者

天筒山の夕景を撮影するカメラマン

天筒山を見て黄昏る人々

休憩しながら談笑する観光客

部活のことを話しながら帰宅する中学生

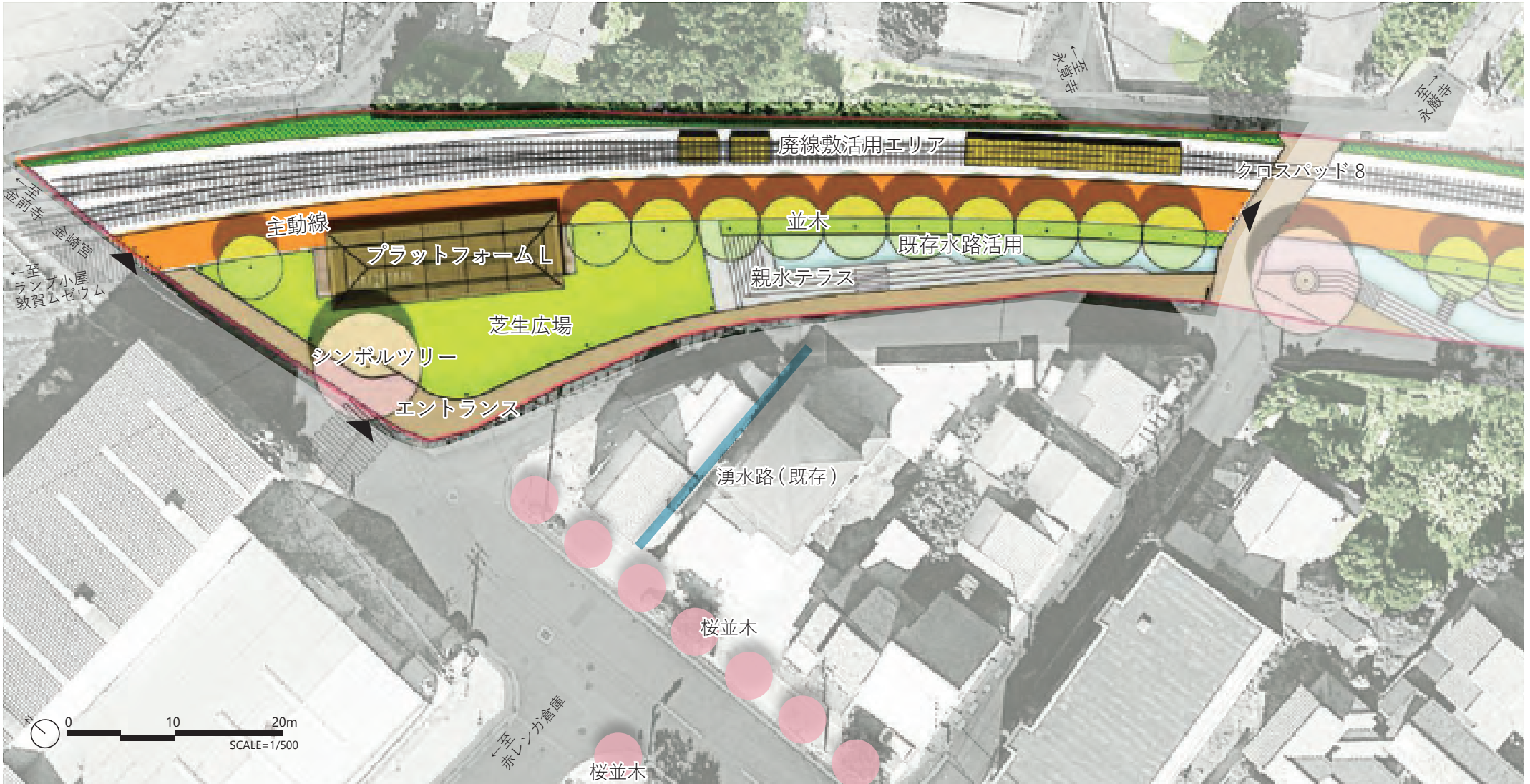
放課後レインガーデンで遊ぶ小学生

いつもの散歩コースを犬と歩く青年

(1) 広場

③うみまち広場

○平面図

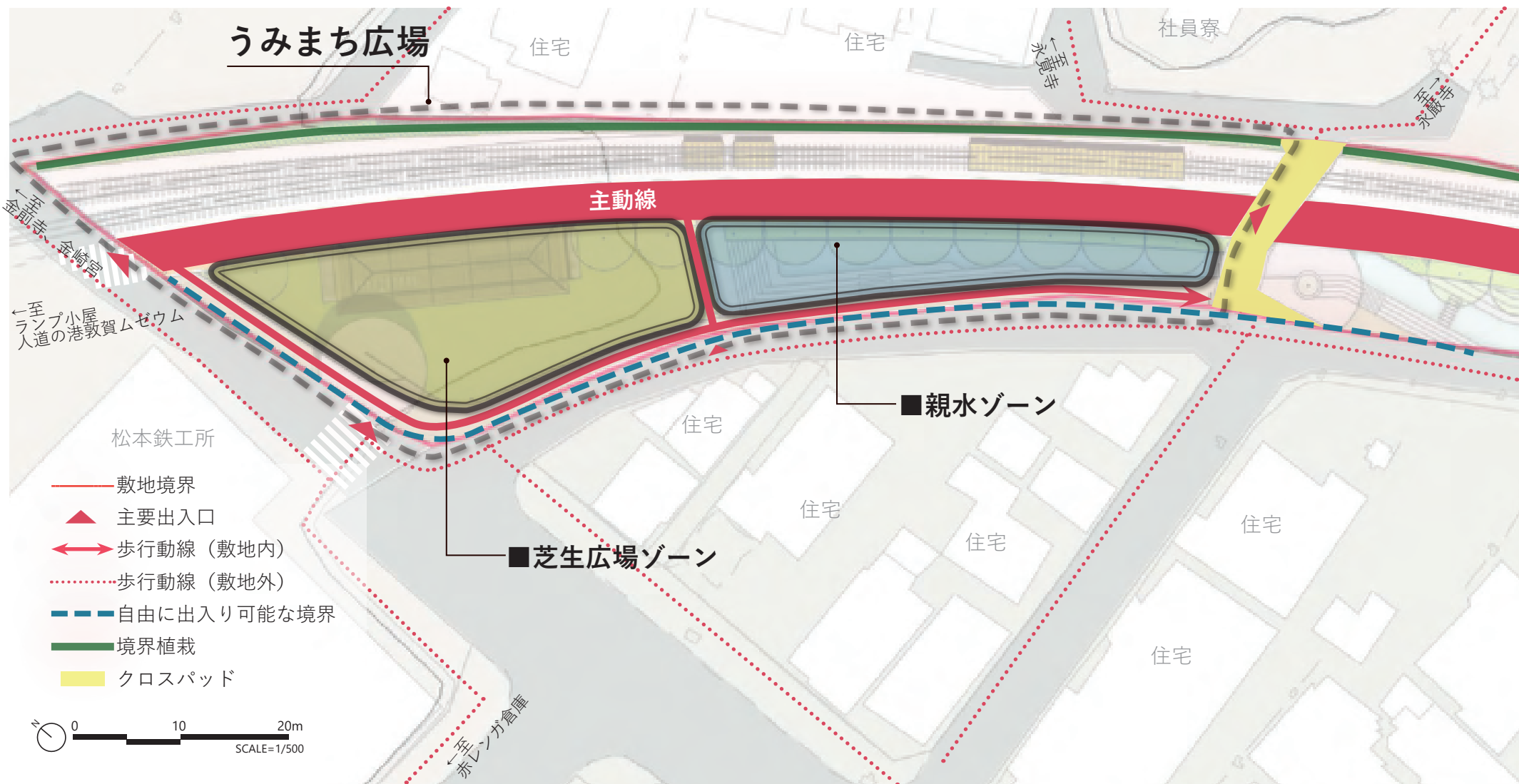


(1) 広場

③ うみまち広場

○ゾーニング

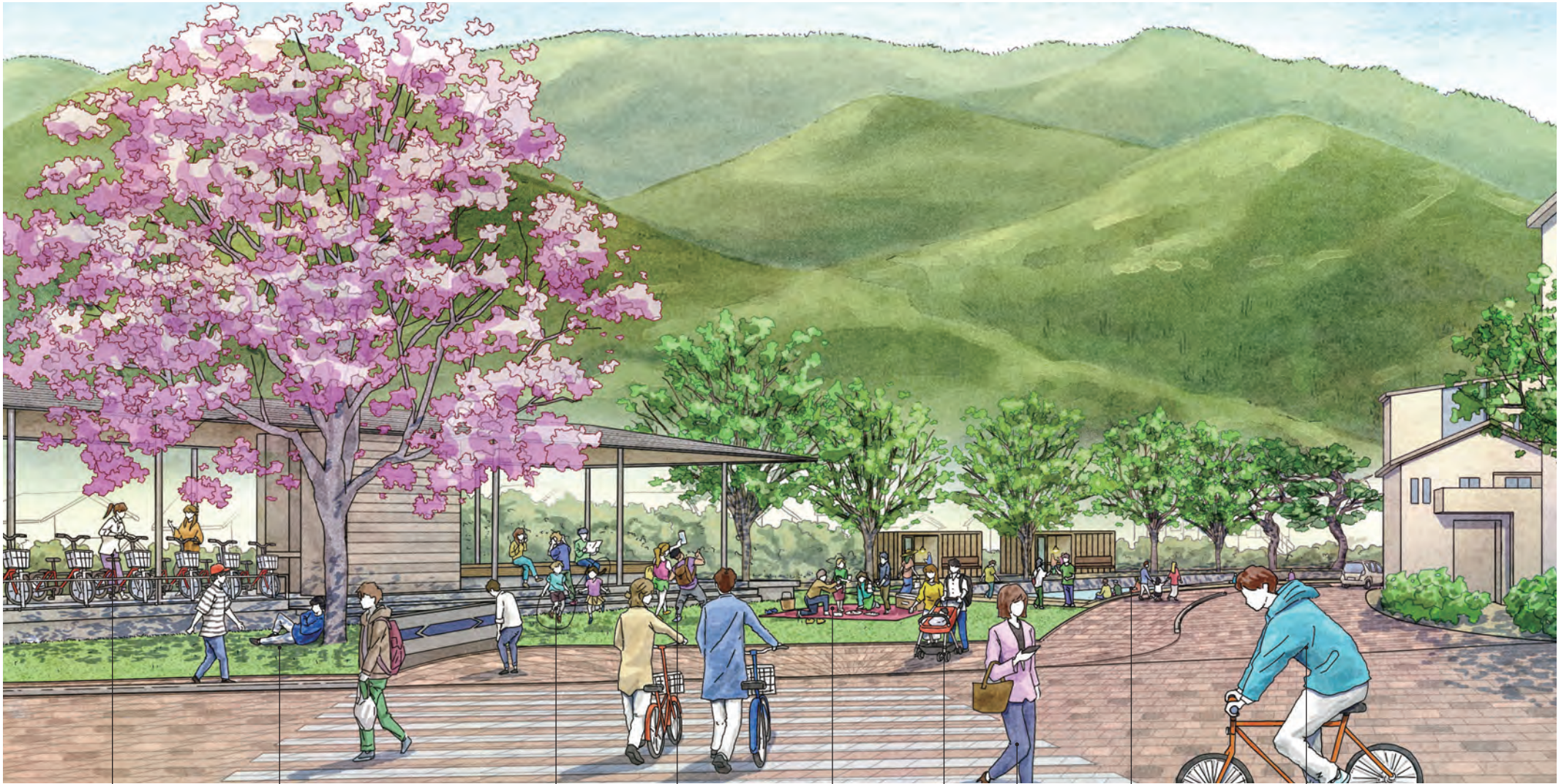
- ・芝生広場ゾーン：産業イベントやお祭りなどの地域行事に活用可能な芝生広場を整備。
- ・親水ゾーン：既存水路の擁壁を撤去し人々が滞留できる親水空間として再編。



(1) 広場

③うみまち広場

○イメージ



レンタサイクルで
市内を回遊する観光客

読書をしていたら心地よくなり
居眠りしてしまった学生

自由に遊ぶ子ども
と見守る保護者

春の天筒山を写真
お花見にきた
に収める観光客 地元の友人・家族

散歩にきた地域住民

親水テラスで
涼を感じる人々

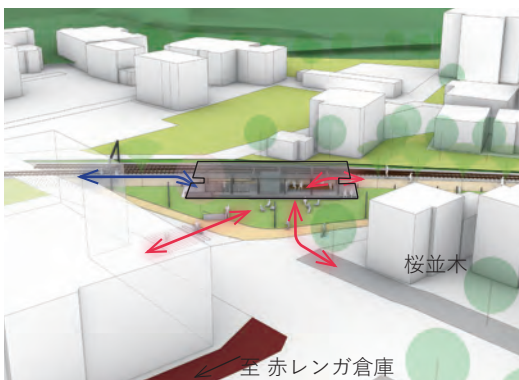
若狭湾を走ってきた
サイクリスト

(2) プラットフォーム

- PF-1：西側は主動線、東側は芝生広場に面し、容易にアクセス可能。幹線道路に接する北側にモビリティポートを配置。
- PF-2：西側は主動線や市有団地、東側は浄化センター空地に面し、現況のレベル差をデッキにより解消。道路に接する東側にモビリティポートを配置。
- PF-3：西側は主動線、北側はクロスパッドに面しそれぞれと動線が繋がる。クロスパッドに接する北側にモビリティポートを配置。
- PF-4：西側は芝生広場、東側は主動線に面し、容易にアクセス可能。金ヶ崎エリアに向かう北側にモビリティポートを配置。

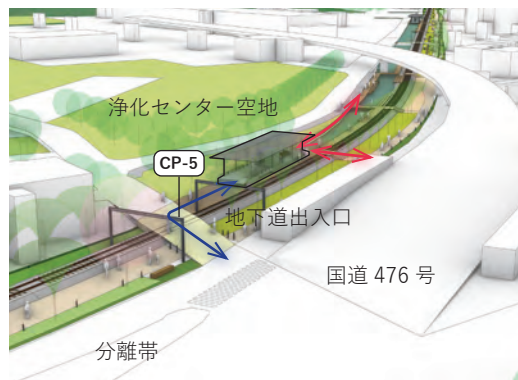


PF-4 金ヶ崎エリアと繋がる玄関口

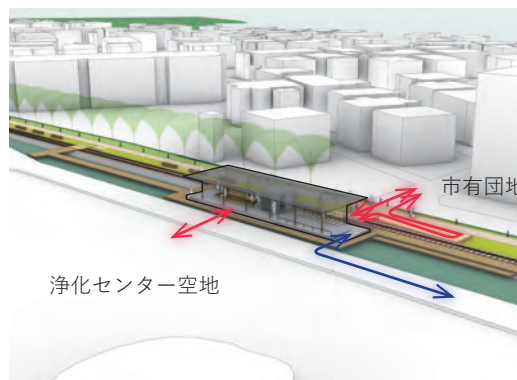


↔ 自転車・歩行者動線 ↔ 歩行者動線

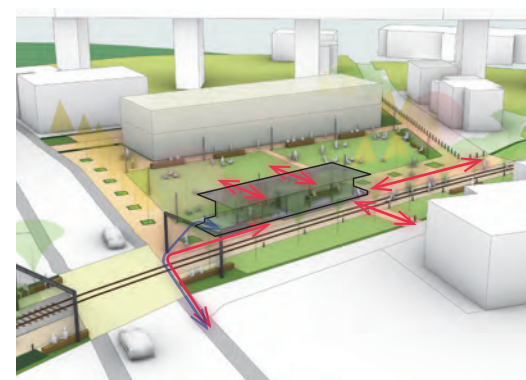
PF-3 広い間口で繋がる市街地との玄関口



PF-2 隣地と連携した活動の拠点



PF-1 くさまち広場との一体利用拠点



(2) プラットフォーム

②平面図

○標準機能はモビリティポート、案内図、休憩ベンチ、トイレ、水飲み。

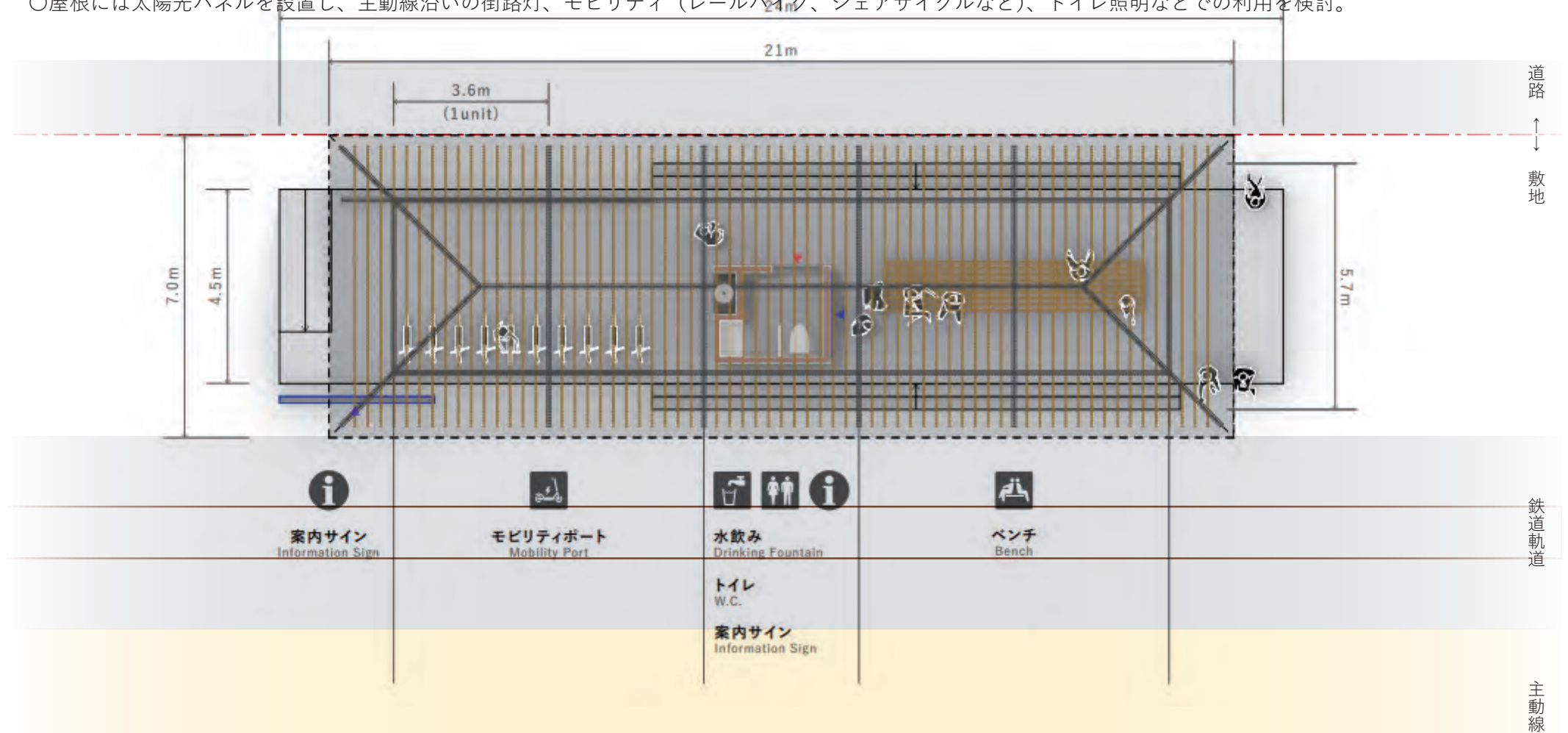
○どの面からもアクセス可能で裏の空間が無い設計。

○歩行者、自転車利用者が往来しやすい機能配置。

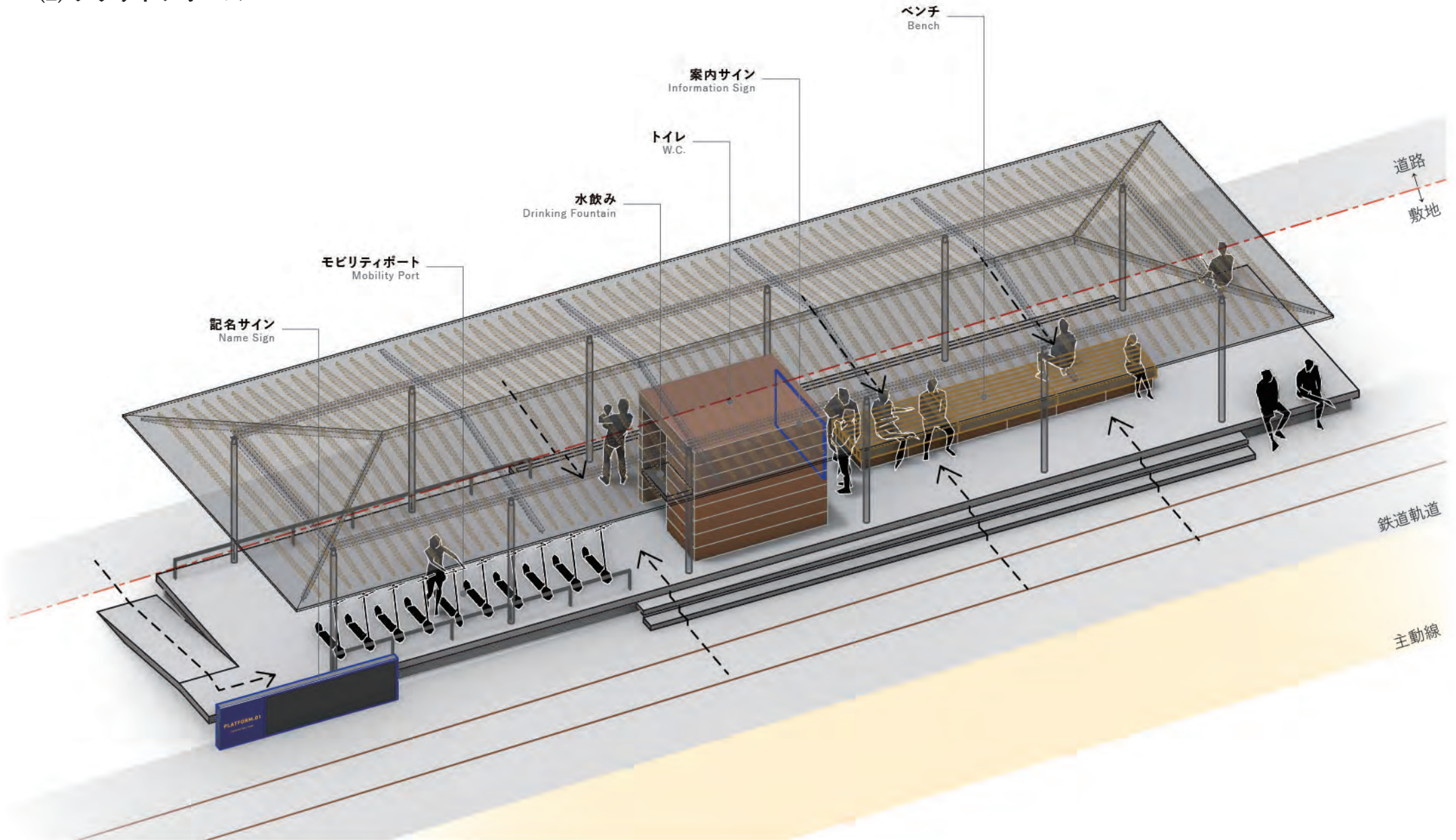
○立ち上がる基礎部分は階段やスロープで昇降し、ベンチとしても利用可能な設計。

○鉄道の要素を継承する旧駅舎の寄棟屋根や鉄素材、日本的な木質の設えを採用。

○屋根には太陽光パネルを設置し、主動線沿いの街路灯、モビリティ（レールバイク、シェアサイクルなど）、トイレ照明などでの利用を検討。

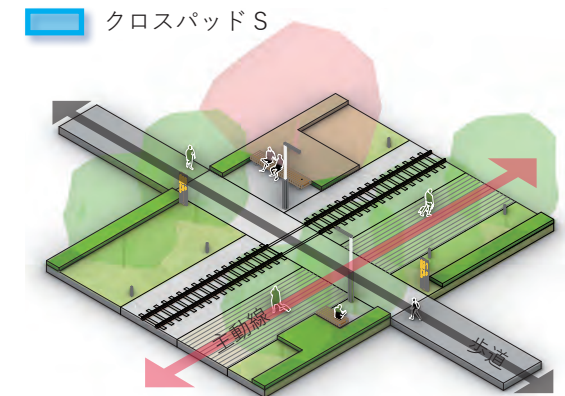
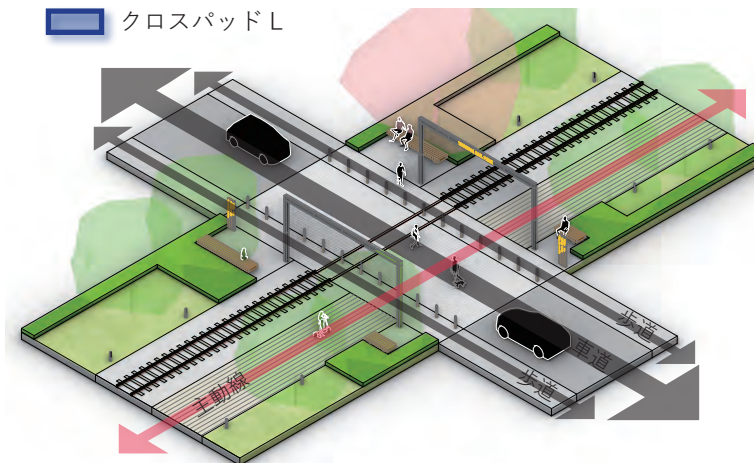


(2) プラットフォーム



(3) クロスパッド

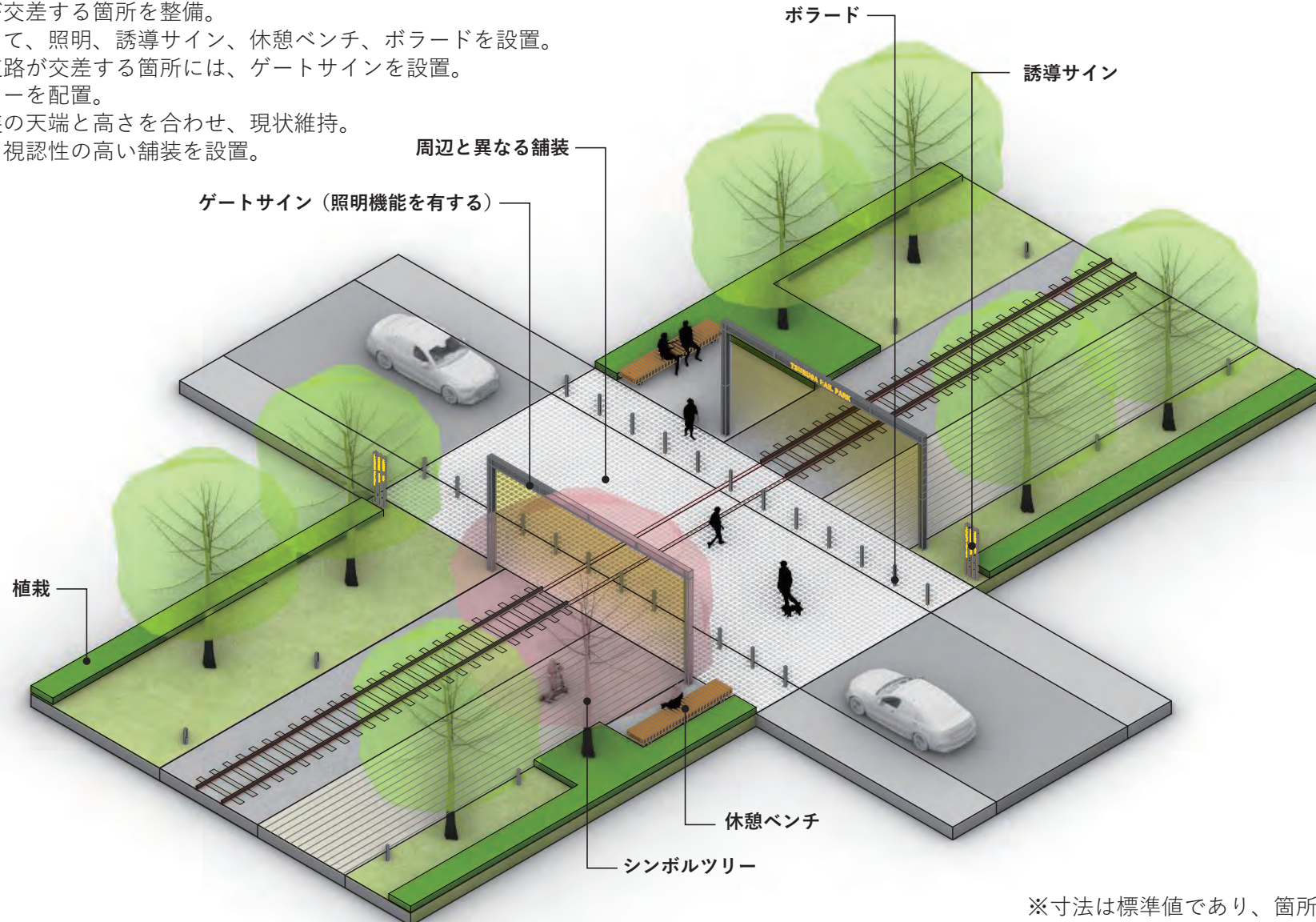
- 自動車通行がある「L」、自動車通行がない「S」の2種類を使い、交差する道路の仕様に合わせて整備
- CP- 1, 3, 5, 8はクロスパッドL、CP- 2, 4, 6, 7はクロスパッドSを配置



(3) クロスパッド

① クロスパッド L

- 敷地と車道が交差する箇所を整備。
- 標準機能として、照明、誘導サイン、休憩ベンチ、ボラードを設置。
- 敷地と幹線道路が交差する箇所には、ゲートサインを設置。
- シンボルツリーを配置。
- レールは舗装の天端と高さを合わせ、現状維持。
- 周辺と異なり視認性の高い舗装を設置。

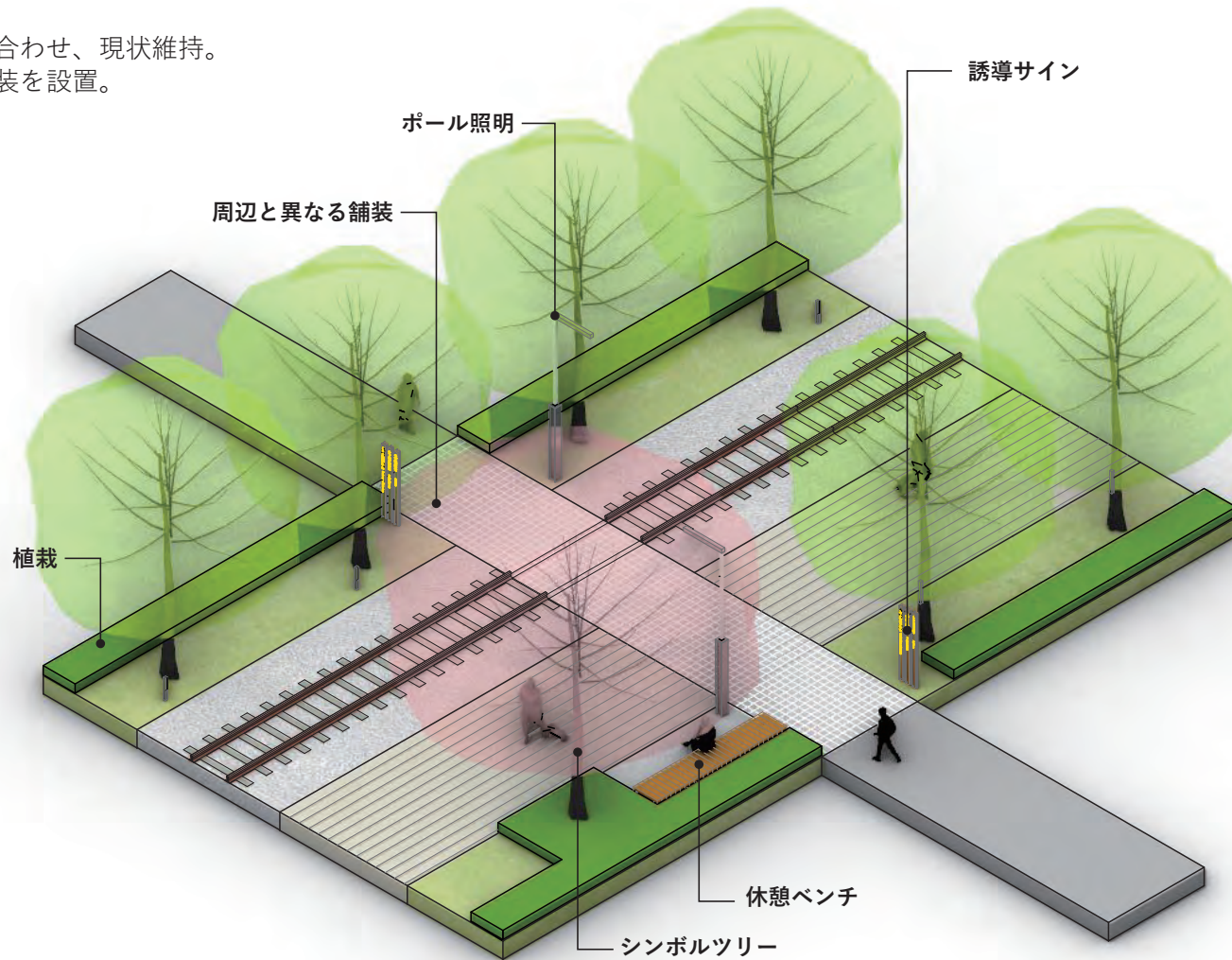


※寸法は標準値であり、箇所により異なる。

(3) クロスパッド

②クロスパッド S

- 敷地と歩道が交差する箇所を整備。
- 標準機能として、ポール照明、誘導サイン、休憩ベンチを設置。
- シンボルツリーを配置。
- レールは舗装の天端と高さを合わせ、現状維持。
- 周辺と異なり視認性の高い舗装を設置。



※寸法は標準値であり、箇所により異なる。

2-7. 景観形成の方針

(1) 環境基盤としての整備

- 主動線を透水性舗装とし、敷地全体の雨水流出抑制を計画
- 締め固められた地盤を攪拌し浸透性を向上させた植栽帯を整備
- レインガーデン、バイオスウェルを設け自然環境学習の場を創出
- 湧水を活かした親水空間の整備により水辺のレクリエーション空間を提供



— 親水空間

水辺のレクリエーション # 都市性



— レインガーデン / バイオスウェル

環境学習 # 都市型水害抑制 # 地下水涵養



— 透水性舗装・植栽帯

ヒートアイランド現象緩和 # 緑陰効果



(2) 植栽

全体方針

- 周辺の自然環境・植生群落の保全と調和を図りながら計画する。
- レールパーク全体で四季の移ろいを楽しむことができる樹種構成とする。



シンボル緑地
金ヶ崎や敦賀港と一体化した緑の拠点

桜並木



*1

柳



*2

松



*3

雑木の小径
天筒山の緑が拡張する自然地帯

雑木林・夏



*4

雑木林・秋



*5

環境コリドー
既存の地形を活かした生態系空間

雨庭



*6

ナチュラルスティックガーデン



*7

地域の前庭
周辺緑地と連携し、地域と育てる庭

果木



*8

竹



緑の玄関口
エントランス空間を形成する並木

イチョウ並木



*9

モミジ



*10

TSURUGA RAIL PARK 利活用計画

著作権リスト

概要：55種類、91ヵ所

No.	ページ	写真番号	クレジット	出典	MEMO	
-	4	-	敦賀市	ふるさと敦賀の回想：市制施行50周年記念写真集	往時の金ヶ崎 モノクロ写真	
-	6	-	敦賀市	ふるさと敦賀の回想：市制施行50周年記念写真集	往時の金ヶ崎 モノクロ写真	
1	20	1	© 2012 Consis.Co.Ltd.	https://www.hirosakipark.jp/sakura/hanami/tebura/	花見	
2		2	yoozine	https://brunch.co.kr/@scape/4	親水空間	
3		3	John Sturrock, Gillespies	https://landezine.com/television-centre-by-gillespies/	雑木林の下のベンチ	
4		4	swa	https://www.instagram.com/p/DPmOrWakTD2/?igsh=dzVveXJndWpreno0	プラットフォーム	
5		5	©AJOA	https://landezine-award.com/martin-luther-king-park/	レインガーデン	
6		6	© Konstantin Börner	https://www.natur-park-suedgelaende.de/en/service-information/plan-your-visit/	散策園路	
7		7	© 2024 Carlin, inc.	https://www.fashion-press.net/news/15601	芝生広場イベント	
8		8	© 2019 BUROKI design.	https://www.buroki-design.com/blog/private/private0156/	蹴上インクラインの桜	
9		9	ソウル生活史博物館	https://www.fnnews.com/news/202110051153483478	慶春線森道	
10		10	WishlistPrivate	https://es.pinterest.com/pin/216313588356452292/	ハイラインの長ベンチ	
11	25	11	MizunoAtsumi	https://greenz.jp/2025/02/25/shimokita-engei/	シモキタ園芸部	
12		12	koreaarex	https://ameblo.jp/koreaarex/entry-12878949815.html	京義線森の道	
13		1	@2026 KYOTO PLAZA-HOTEL.	https://www.kyoto-plazahotel.co.jp/aomomiji/incline	蹴上インクライン 飛び石	
14		1	ソウル生活史博物館	https://www.fnnews.com/news/202110051153483478	慶春線森道	
15		2	Korea Tourism Organization	https://japanese.visitkorea.or.kr/svc/contents/contentsView.do?menuSn=587&vcontsId=72835	江村レールパーク	
16		3	© Mike Sinclair	https://www.archdaily.com/962476/shipping-container-architecture-debunking-the-design-trend-of-the-decade	コンテナアート (赤いバンチングパネル)	
17		4	John Gollings	https://eat-drink-design.com/gallery/2015/best-bar-design/78Q4F47PQNR	コンテナカフェ	
18		27	1	WishlistPrivate	https://es.pinterest.com/pin/216313588356452292/	ハイラインの長ベンチ
19			2	Парк Sub Base Platypus Precinct в Австралии, ASPECT Studios	landezine-award.com	木の遊具とこども
20			3	kuhuminna.tallinn.ee	https://elu24.postimees.ee/282230/kolmapaev-7-juuli	ベンチ+花壇
21	4		MizunoAtsumi	https://greenz.jp/2025/02/25/shimokita-engei/	シモキタ園芸部	
22	30	1	© Shaddy. Co., Ltd.	https://gift-manners.shaddy.jp/article/3453/	祭り	
23		2	© Prime Place Co.Ltd.	https://tokyo-sg.com/news/995	マルシェ、アートマーケット	
24		3	山田 義博	https://kyoto-design.jp/spot/2724	蹴上インクライン (緑)	
25		4	La Recyclerie	https://www.larecyclerie.com/podcasts/events/gare-aux-docs-3-2/	トンネル映画祭	
26		5	©AJOA	https://landezine-award.com/martin-luther-king-park/	レインガーデン	
27		6	HafenCity Hamburg GmbH	https://landezine-award.com/kirchenpauerkai-in-the-baakenhafen-quarter-by-atelier-loidl-landscape-architects-berlin-gmbh%EF%BF%BC/	ポケットパーク	
28		7	Brooklyn Grange	https://www.domusweb.it/en/sustainable-cities/gallery/2024/04/09/15-architectures-to-understand-how-to-plant-on-the-roof.html	市民農園	
29		8	© 2026 Grün Berlin GmbH	https://gruen-berlin.de/pressemitteilung/natur-zum-hoeren-anfassen-und-sehen	自然教室のサイン	
30		9	© 2024 Carlin, inc.	https://www.fashion-press.net/news/15601	芝生広場イベント	
31		10	2017-2025 JAPAN BENCH PROJECT / TOKYO BENCH PROJECT	https://japanbench.jp/	まちの休憩所 (赤いベンチ)	

版權リスト

概要：55種類、91カ所

No.	ページ	写真番号	クレジット	出典	MEMO
32	34	1	© 2024 Carlin, inc.	https://www.fashion-press.net/news/15601	芝生広場イベント
33		2	koreaarex	https://ameblo.jp/koreaarex/entry-12878949815.html	京義線森の道
34		3	COAST STUDIO	https://landezine.com/remiseparcken/	メインエントランスゲート
35	35	1	koreaarex	https://ameblo.jp/koreaarex/entry-12878949815.html	京義線森の道
36		2	2017-2025 JAPAN BENCH PROJECT / TOKYO BENCH PROJECT	https://japanbench.jp/	まちの休憩所（赤いベンチ）
37		3	COAST STUDIO	https://landezine.com/remiseparcken/	メインエントランスゲート
38	36	1	© 2024 Carlin, inc.	https://www.fashion-press.net/news/15601	芝生広場イベント
39		2	中村 藍	https://mainichi.jp/articles/20161017/k00/00e/040/188000c	まちカフェ
40		3	長谷川健太, 水野建築事務所	https://mizuno-se.com/housing-1/kodomokan	地域交流機能
41		4	© Dion Robeson	https://landezine.com/midland-railway-square-by-place-laboratory/	レール上の休憩所
42	41	1	MizunoAtsumi	https://greenz.jp/2025/02/25/shimokita-engei/	シモキタ園芸部
43		2	© Konstantin Börner	https://www.natur-park-suedgelaende.de/en/service-information/plan-your-visit/	散策園路
44	42	1	PLACE MEDIA	https://placemedia.net/works/1103/	プレイスの石ベンチ
45		2	© Konstantin Börner	https://www.natur-park-suedgelaende.de/en/service-information/plan-your-visit/	散策園路
46	43	1	MizunoAtsumi	https://greenz.jp/2025/02/25/shimokita-engei/	シモキタ園芸部
47		2	© 2026 Grün Berlin GmbH	https://gruen-berlin.de/pressemitteilung/natur-zum-hoeren-anfassen-und-sehen	自然教室のサイン
48		3	ソトノバ sotonoba.place	https://sotonoba.place/audiorama-mexicocity	サウンドスケープ
49		4	© Luka Vidic	https://landezine.com/smartinski-park-playground-by-luz/	公園との連携
50	49	1	HafenCity Hamburg GmbH	https://landezine-award.com/kirchenpauerkai-in-the-baakenhafen-quarter-by-atelier-loidl-landscape-architects-berlin-gmbh%EF%BF%BC/	ポケットパーク
51		2	© 2026 Sasaki Associates, Inc.	https://www.sasaki.com/voices/xuhui-runway-park-takes-off/	レインガーデン@中国
52		3	Janna Schreier Garden Design	https://jannaschreier.com/2016/10/19/the-high-line-new-york/piet-oudolfs-high-line-planting-is-a-classic-example-of-enhanced-nature/	ナチュラルスティックガーデン
53	50	1	Janna Schreier Garden Design	https://jannaschreier.com/2016/10/19/the-high-line-new-york/piet-oudolfs-high-line-planting-is-a-classic-example-of-enhanced-nature/	ナチュラルスティックガーデン
54		2	©AJOA	https://landezine-award.com/martin-luther-king-park/	レインガーデン
55	51	1	HafenCity Hamburg GmbH	https://landezine-award.com/kirchenpauerkai-in-the-baakenhafen-quarter-by-atelier-loidl-landscape-architects-berlin-gmbh%EF%BF%BC/	ポケットパーク
56		2	© Frank Sperling	https://www.natur-park-suedgelaende.de/service-infos/news/detail/sommerferien-fuer-kleine-und-grosse-entdeckerinnen-im-natur-park-suedgelaende-1/	跳ねる子ども
57		3	WishlistPrivate	https://es.pinterest.com/pin/216313588356452292/	ハイラインの長ベンチ
58		4	swa	https://www.instagram.com/p/DPmOrWakTD2/?igsh=dzVveXJndWpreno0	プラットフォーム
59	57	1	山田 義博	https://kyoto-design.jp/spot/2724	蹴上インクライン（緑）
60		2	Google map	https://www.google.co.jp/maps/@37.5636129,126.9218166,3a,75v,184.9h,98.63t/data=!3m7!1e1!3m5!1syaCOeCA3EDrHW07f5OGwA!2e0!6shttps:%2F%2Fstreetviewpixels-pa.googleapis.com%2Fv1%2Fthumbnail%3Fcb_client%3Dmaps_sv.tactile%26w%3D900%26h%3D600%26pitch%3D-8.63308874281573%26panoid%3DyaCOeCA3EDrHW07f5OGwA%26yaw%3D184.89747191647916!7!13312!8i6656?entry=tту&g_ep=EgoyMDI2MDMxMS4wLkxMDS0ASAFQAw%3D%3D	ゲートゾーン（京春線森の道）

著作権リスト

概要：55種類、91カ所

No.	ページ	写真番号	クレジット	出典	MEMO
61	58	1	ソウル生活史博物館	https://www.fnnews.com/news/202110051153483478	慶春線森道
62		2	Google map	https://www.google.co.jp/maps/@37.5636129,126.9218166,3a,75y,184.9h,98.63t/data=!3m7!1e1!3m5!1svaCOeCA3EDrHW07If5OGwA!2e0!6shhttps:%2F%2Fstreetviewpixels-pa.googleapis.com%2Fv1%2Fthumbnail%3Fcb_client%3Dmaps_sv.tactile%26w%3D900%26h%3D600%26pitch%3D-8.63308874281573%26panoid%3DyaCOeCA3EDrHW07If5OGwA%26yaw%3D184.89747191647916!7!13312!8i6656?entry=ttu&g_ep=EgoyMDI2MDMxMS4wLkXMDSoASAFQAw%3D%3D	ゲートゾーン（京春線森の道）
63	59	1	© Torben Petersen, SLA	https://landezine.com/nature-park-corporate-garden-sla-landscape-architecture/	雑木林の園路を歩く男性2人
64		2	John Sturrock, Gillespies	https://landezine.com/television-centre-by-gillespies/	雑木林の下のベンチ
65	61	1	© 2024 - NEW YORKお散歩通信.	https://www.osanpotsushin.com/191st-street-station/	トンネルアート in NY
66		2	La Recyclerie	https://www.larecyclerie.com/podcasts/events/gare-aux-docs-3-2/	トンネル映画祭
67		3	ICHIRO TAKASE	https://www.wwdjapan.com/articles/416868	MIHO
68	65	1	© Shaddy. Co., Ltd.	https://gift-manners.shaddy.jp/article/3453/	祭り
69		2	Himeji City.	https://www.city.himeji.lg.jp/sangyo/000002164.html	姫路駅前 親水空間
70		3	La Recyclerie	https://www.larecyclerie.com/podcasts/events/gare-aux-docs-3-2/	トンネル映画祭
71	66	1	© 2019 BUROKI design.	https://www.buroki-design.com/blog/private/private0156/	蹴上インクラインの桜
72		2	kurayoshi_kankou.	https://www.instagram.com/p/ChW00z9L6Kh/	倉吉トンネルライトアップ
73		3	Rowa Lee	https://www.thehighline.org/art/performances/?	ライブ@ハイライン
74		4	© Prime Place Co.Ltd.	https://tokyo-sg.com/news/995	マルシェ、アートマーケット
75	67	1	yoozine	https://brunch.co.kr/@scape/4	親水空間
76		2	BONUS TRACK NEWS	https://note.com/bonustrack_s kz/n/nca9df6dc8d20	下北沢ポーナストラック
77		3	© The Chugoku Shimbun	https://www.chugoku-np.co.jp/articles/-/733263	おさかな市場
78		4	© 2012 Consis.Co.Ltd.	https://www.hirosakipark.jp/sakura/hanami/tebura/	花見
79		5	Sarah Anderson	https://www.behance.net/gallery/26760931/Design-Matters	カラフルコンテナ
80	85	1	yoozine	https://brunch.co.kr/@scape/4	親水空間
81		2	©AJOA	https://landezine-award.com/martin-luther-king-park/	レインガーデン
82	86	1	© 2019 BUROKI design.	https://www.buroki-design.com/blog/private/private0156/	蹴上インクラインの桜
83		2	©Yanagawa Kanko Kaihatsu Kabushikikaisha.	https://tenjinsite.jp/manga/itopics/202	柳
84		3	石井哲也	https://www.kanazawabiyori.com/guide/kenrokuen/spot_neagari.html	松
85		4	© Photock	https://photock.jp/photo/fresh-green-forest-path	雑木林の夏の園路
86		5	ひろしま遊学の森 広島県緑化センター	https://ryokka-c.jp/	雑木林の秋
87		6	© 2026 Sasaki Associates, Inc.	https://www.sasaki.com/voices/xuhui-runway-park-takes-off/	レインガーデン@中国
88		7	河内彩	https://www.shuminoengei.jp/?m=pc&a=page_tn_detail&target_xml.topic_id=engei_002947	ナチュラルスティックガーデン 趣味の園芸
89		8	freshmaxgroup	https://www.instagram.com/p/CmTEI_GMyoq/	果樹園
90		9	©2019 Tabiyomi Powered by 旅行読売 × 読売旅行	https://tabiyomi.yomiuri-ryokou.co.jp/article/000732.html	大木のイチヨウ並木
91		10	saitamanikki2008	https://saitamanik.exblog.jp/27889572/	モミジ